



STAGE PIANO

CP88

CP73

取 扱 説 明 書

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

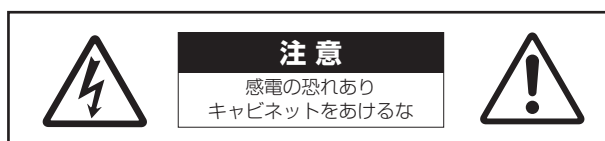
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
-----------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
-----------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------

■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。」

警告

電源 / 電源コード



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。



アース線を接続せよ

アース接続を確実に行う。

感電のおそれがあります。アース接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグから切り離して行ってください。アース接続については18ページをご参照ください。

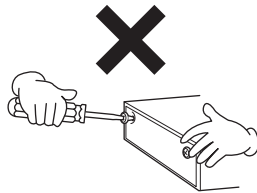
分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上ろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源コード



禁止

たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげをしったりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。

お客様がかげをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がかげをしったりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[STANDBY/ON]スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。

[STANDBY/ON]スイッチが切れている時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご使用上の注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPad、iPhone、iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPad、iPhone、iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- 手入れするときは、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。しつこい汚れ(コントローラー、鍵盤を除く)には、中性洗剤を水でうすめ、柔らかい布に浸し、固くしぼって汚れをふき取ったあと、乾いた布で乾拭きしてください。ベンジンやシンナー、アルコール、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- 極端に湿度が変化すると、本体表面に水滴がつく(結露すること)があります。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。

■ データの保存に関する注意

- 編集したライブセットサウンド、MENU画面、SETTINGS画面の設定などは、保存前に電源を切ると消えてしまいます。オートパワーオフ機能(19ページ)により電源が切れた場合も同様です。保存しておきたいデータは、本体またはUSBフラッシュメモリーやコンピューターなどの外部機器に保存してください(21ページ)。ただし、本体に保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USBフラッシュメモリーやコンピューターなどの外部機器に保存してください(21ページ)。USBフラッシュメモリーの取り扱いについては22ページをご覧ください。
- 保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリーやコンピューターなどの外部機器にバックアップとして保存されることをおすすめします。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
 - ※上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
 - ※上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- iPhone、iPad、Logic Pro は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- Cubaseは、Steinberg社の登録商標です。
- Ableton Liveは、Ableton AGの商標です。
- Pro Tools[®]は、AVIDの登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

ヤマハ製品では、機能や操作性向上のために、予告なくファームウェアをアップデートすることがあります。製品の機能を十分に生かしてお楽しみいただくため、最新バージョンにアップデートすることをおすすめします。最新のファームウェアは、下記ウェブサイトからダウンロードすることができます。

<https://jp.yamaha.com/support/>

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品のリアパネルにある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(rear_ja_02)

はじめに

このたびはヤマハステージピアノ、CP88、CP73をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

この楽器は、ライブパフォーマンス用ステージピアノです。

この楽器に搭載された機能を十分に生かすため、本書をぜひご活用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いします。

付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書) x 1
- 電源コード x 1
- 2P-3P変換器 x 1
- 保証書 x 1
- フットペダル(FC3A) x 1

特長

■ 最高峰のクオリティを誇るアコースティックピアノとエレクトリックピアノのサウンド

ステージピアノ作りのノウハウをそそぎこんで、1鍵ごと、そして鍵盤タッチの強さに応じて細かい音の調整や合わせこみを行ない、ソロ演奏に映える濃密なピアノサウンドと、アンサンブル演奏の中でも埋もれないピアノサウンドの両方を実現しています。エレクトリックピアノも、アコースティックピアノと同様に鍵盤タッチの強さに応じて音を調整することで、スムーズな鍵盤タッチを実現しています。

■ ユースケースに合わせて選べるハンマー鍵盤

CPシリーズには、アコースティックピアノの鍵盤に近い弾き心地を実現したハンマー鍵盤を装備しています。CP88は、鍵盤の高低で重さを変えてグランドピアノの演奏感を再現し、専用のチューニングを施した木製象牙調・黒檀調仕上げによるグレードハンマー鍵盤(NW-GH3鍵盤)を搭載。CP73にはエレクトリックピアノの演奏に適したバランスドハンマー鍵盤(BHS鍵盤)を採用しました。

■ 高級感と可搬性を兼ね備えたデザイン

アルミ素材に包まれ、コンパクトに研ぎ澄まされたCPシリーズのデザインは、マテリアルが醸し出すプロフェッショナルな質感をまとい、同時にステージへの可搬性を高めます。

■ ステージ演奏に求められるあらゆる操作をダイレクトに実現するユーザーインターフェース

Piano、E.Piano、Subの3つの専用セクションにステージ演奏に必要なすべての操作子を配置したことにより、いつでもパラメーターにダイレクトにアクセスできます。音色を切り替えてもLEDインジケーターにより現在の値がすぐにわかるため、ストレスなく演奏に集中でき、さらに演奏中に曲の雰囲気に応じて即興でエフェクトによるサウンドメイキングができます。

■ 演奏の可能性をひろげる外部との連携をサポートする機能

コンピュータ上のソフト音源や、外部MIDI音源との連携をサポートするMIDIコントロール機能とマスターキーボード機能を搭載。さらにClass Compliantに対応したUSB Audio/MIDI インターフェースとのコンビネーションでこれからのステージ演奏を柔軟にサポートします。

目次

安全上のご注意	2
ご使用上の注意	5
はじめに	6
付属品(お確かめください)	6
特長	6

各部の名称とはたらき 8

フロントパネル	8
LCD やランプの設定をする	8
ライブセット	10
ライブセットサウンドを保存する	10
ライブセットサウンドを入れ替える	11
ライブセットサウンドをコピーする	11
ピアノセクション	12
セクションをコピーする	12
エレクトリックピアノセクション	13
サブセクション	14
ディレイセクション/リバーブセクション	14
マスター EQ	15
リアパネル	16

ご使用前の準備 18

電源の準備	18
スピーカーやヘッドフォンの準備	18
電源を入れる/切る	18
オートパワーオフ機能	19
工場出荷時の状態に戻す(ファクトリーリセット)	19

基本構造と画面表示 19

ボイスを選ぶ	19
表示画面からの抜け方	19
画面の見かた	19
ファイル名/ライブセットサウンド名の編集	20

本体の設定をセーブ/ロードする 21

本体の設定をUSBフラッシュメモリーにセーブする	21
USBフラッシュメモリーにセーブした本体の設定をロードする	21

外部MIDI機器と接続して使う 23

本体でシンセサイザーや音源モジュールをコントロールする	23
外部MIDIキーボードやシンセサイザーで本体の音源をコントロールする	23

コンピューターと接続して使う 24

コンピューターとの接続準備	24
iPhone/iPadと接続する	25

MENU LIST 26

SETTINGS LIST 31

DATA LIST 35

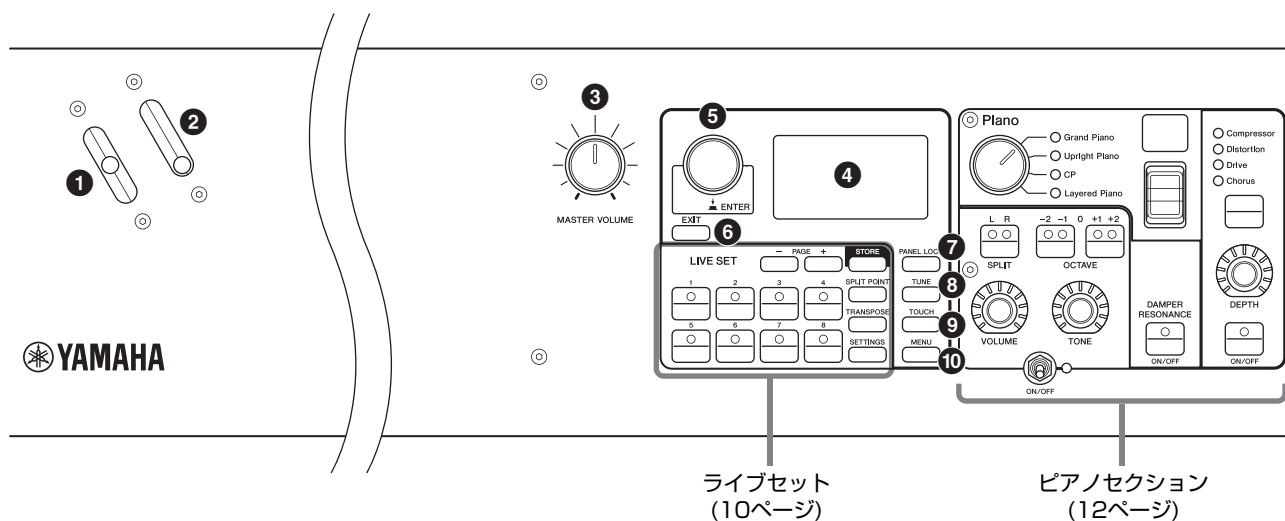
Live Set Sound List	35
Voice List	37
Control Change Number List	38
MIDI	41
MIDI Data Format	42
MIDI Data Table	44
MIDI Implementation Chart	48

資料 49

メッセージ一覧	49
困ったときは	50
仕様	52
索引	53
保証とアフターサービス	55

各部の名称とはたらき

フロントパネル



ライブセット
(10ページ)

ピアノセクション
(12ページ)

① ピッチベンドレバー

弾いた音の高さ(ピッチ)を連続的に変えるためのコントローラーです。ピッチベンドレバーから手を離すと、レバーが自動的に元の位置に戻り、ピッチが元に戻ります。

ピッチベンドレンジは、[SETTINGS]ボタン → 「Controllers」 → 「Bend Range」からセクションごとに設定できます(34ページ)。

② モジュレーションレバー

ビブラートをかけるためのコントローラーです。ビブラートの深さは、[SETTINGS]ボタン → 「Controllers」 → 「P.Mod Depth」からセクションごとに設定できます(34ページ)。また、サブセクションのエフェクトで「Rotary」が選択されている場合、自動的にRotaryのスピード(Fast、Slow)を切り替えるコントローラーに変わります。

③ [MASTER VOLUME]ノブ

楽器全体の音量を調節します。

④ LCD (液晶ディスプレイ)

使用中の機能に応じて、さまざまなメッセージや各種設定が表示されます。

■ LCDやランプの設定をする

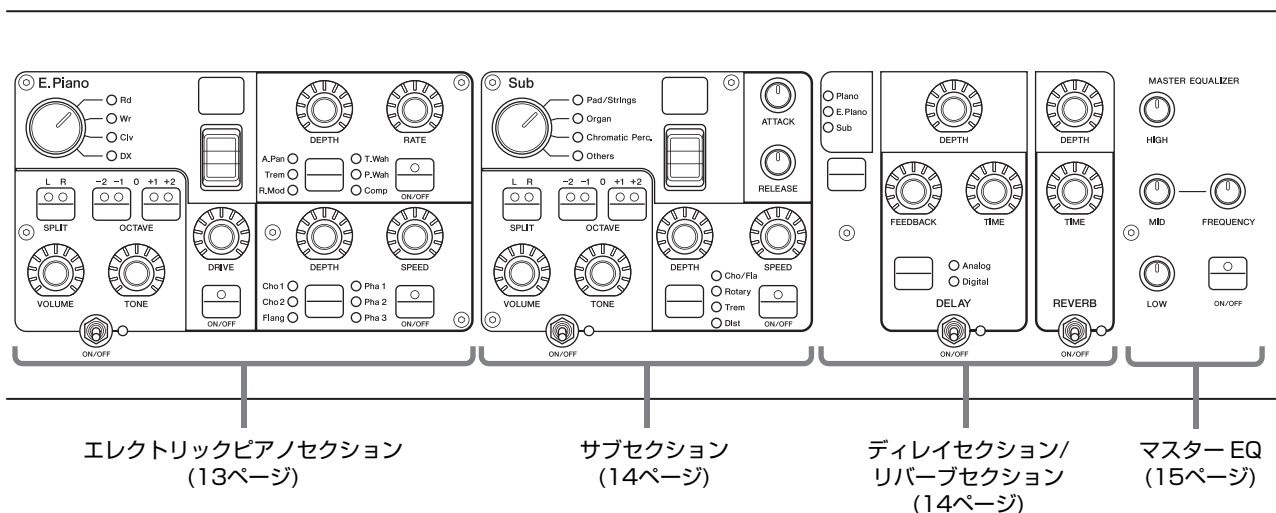
[MENU]ボタン → 「Control Panel」 → 「Display Lights」から以下の設定ができます。

Section	各セクションのランプを[ON/OFF]スイッチに連動して点灯させる(Off)か、常に点灯させる(On)かを設定します。
Ins Effect	各セクションのインサクションエフェクトのランプをインサクションエフェクト[ON/OFF]ボタンに連動して点灯させる(Off)か、常に点灯させる(On)かを設定します。
LCD SW	トップ画面のLCDを表示させる(On)か、非表示にする(Off)かを設定します。MENU画面やSETTINGS画面などで各種設定を行なうときは設定にかかわらず常に表示されます。
LCD Contrast	LCD画面のコントラストを調整します。

⑤ エンコーダーダイヤル/[ENTER]ボタン

LCD画面上でライブセットビュー(10ページ)を表示したり、選択中のパラメーター値を変更します。MENU画面やSETTINGS画面では、画面上のカーソル(反転表示部分)を上下に移動させます。

また、エンコーダーダイヤルを押すと[ENTER]機能になり、選択中の値を確定するときや各操作を実行するときを使用します。



⑥ [EXIT]ボタン

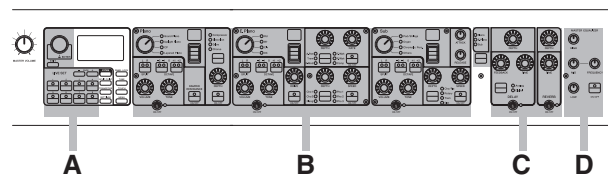
MENU画面とSETTINGS画面は階層構造になっています。設定中に1つ上の階層画面に戻るときに、このボタンを使います。

⑦ [PANEL LOCK]ボタン

パネル上の操作を無効にするか、有効にするかを切り替えます。押すたびに設定が切り替わります。パネルロック中は、画面左上に が表示されます。

NOTE

[MENU]ボタン → 「Control Panel」 → 「Panel Lock Settings」から、以下のエリアごとにパネルロックを設定できます(28ページ)。



- A. Live Set
- B. Piano/E.Piano/Sub
- C. Delay/Reverb
- D. Master EQ

⑧ [TUNE]ボタン

楽器全体のピッチをチューニングします(414.72～466.78 Hz)。[TUNE]ボタンを押して、エンコーダーダイヤルで設定値を変更します。

NOTE

初期設定は、440.00 Hzです。

⑨ [TOUCH]ボタン

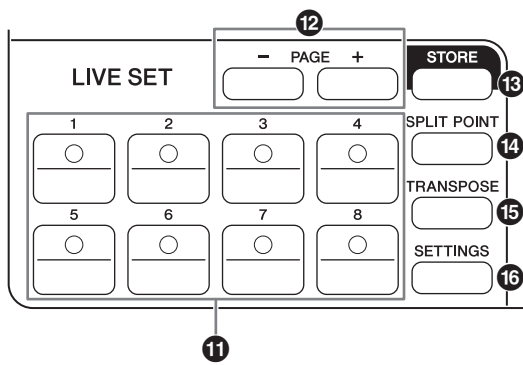
鍵盤を弾く強さに対するペロシティーの出方を決める、ペロシティーカーブを設定する画面を表示します。設定値は下記の5タイプです。[MENU]ボタン → 「General」 → 「Keyboard/Pedal」 → 「Touch Curve」からも設定を変更できます(27ページ)。

設定値	特長
Normal	鍵盤を弾く強さとペロシティーが比例する、もっとも一般的なカーブです。
Soft	全体に大きなペロシティーが出やすいカーブです。
Hard	全体に大きなペロシティーが出にくいカーブです。
Wide	キータッチの弱い部分ではペロシティーをおさえ、強い部分ではペロシティーを出やすくしたカーブです。ダイナミックレンジが広く感じられます。
Fixed	鍵盤を弾く強さに関わりなく、一定のペロシティーで音源を鳴らしたい場合に使用します。ペロシティーの値は、[MENU] → 「General」 → 「Keyboard/Pedal」 → 「Fixed Velocity」から設定できます。

⑩ [MENU]ボタン

システム全体の設定を行なう画面を表示します(26ページ)。

ライブセット



11 ライブセットサウンド[1]～[8]ボタン

保存したライブセットサウンドを呼び出します。

ライブセットサウンド

ライブセットサウンドとは、ピアノセクション(12ページ)、エレクトリックピアノセクション(13ページ)、サブセクション(14ページ)ごとに搭載されているボイスと、ディレイセクション(15ページ)、リバーブセクション(15ページ)のエフェクトで構成された音色のことです。ボイスやエフェクトを自由に組み合わせて好みのライブセットサウンドを保存することができます。

また、ライブセットはSSS "Seamless Sound Switching (シームレス サウンド スイッチング)"に対応しているため、ライブセットサウンドを切り替えたときに、音切れすることなく自然につながります。

NOTE

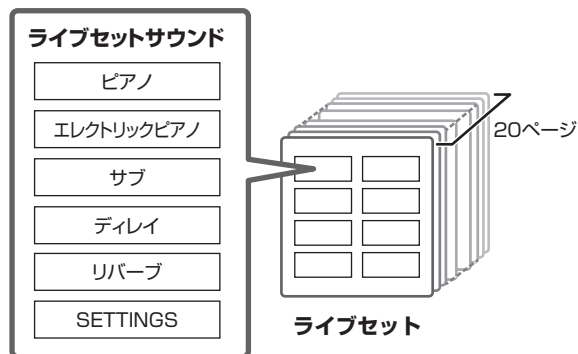
SSSの効果によって鳴り続けている音を消したい場合は、再度、選択中のライブセットサウンドボタンを押してください。

12 PAGE [-]/[+]ボタン

ライブセットのページを切り替えます。ページを切り替えると、ライブセットサウンドも同時に切り替わります。

ライブセット

ライブセットとは、[1]～[8]のライブセットサウンドを1ページにまとめたものです。初期設定(工場出荷時)の状態では、全20ページのうち1～10ページにプリセットのライブセットサウンドが入っています。



ライブセットビュー

トップ画面でエンコーダーダイヤルを操作するとライブセットビューが表示されます。ライブセットビューに切り替わると、ディスプレイ上にライブセット1ページ分のライブセットサウンド[1]～[8]の名称が表示されます。現在選択されているライブセットサウンドの左に が表示されます。ライブセットビューでライブセットサウンドを変更するには、エンコーダーダイヤルで設定したいライブセットサウンドを反転表示させて[ENTER]ボタンを押します。変更後はトップ画面に戻ります。演奏中など、常にライブセットビュー表示にしたい場合は、「Live Set View Mode」を「Keep」に設定してください(29ページ)。



13 [STORE]ボタン

編集したライブセットサウンドを保存します。

以下の内容が保存されます。保存した内容は電源を切っても失われません。

- ピアノセクションの設定
- エレクトリックピアノセクションの設定
- サブセクションの設定
- ディレイセクションの設定
- リバーブセクションの設定
- SETTINGSの設定(SPLIT POINT、TRANSPOSE含む)

NOTE

マスターEQの設定はライブセットサウンドに保存されません。

■ ライブセットサウンドを保存する

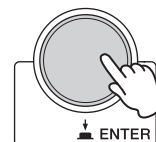
1. [STORE]ボタンを押します。

保存先となるライブセットサウンドの選択画面が表示されます。



2. [ENTER]ボタンを押して、保存します。

画面に「Completed.」と表示され、トップ画面に戻ります。



NOTE

別のライブセットサウンドに編集内容を保存したい場合は、エンコーダーダイヤルで保存先となるライブセットサウンドを変更してください。変更した場合は、鍵盤で保存先の音を確認できます。

**注記**

- 既存のライブセットサウンド(プリセットのライブセットサウンドを含む)の設定を変更して保存する場合、設定は上書きされます。元の設定は消えてしまいますのでご注意ください。
- 保存せずに別のライブセットサウンドを選んだり、電源を切ったりすると、編集中の内容は消えてしまいます。

NOTE

- 別のライブセットサウンドを選んでしまい、編集中の内容が消えてしまった場合は、「Edit Recall」機能により、編集した最後の状態に戻すことができます(30ページ)。
- プリセットのライブセットサウンドはSoundmondoからダウンロードできます。Soundmondoは、音色を保存、管理するiOSアプリです。
- アプリケーションについて、詳しくはウェブサイト上の下記ページをご確認ください。
https://jp.yamaha.com/products/music_production/apps/

■ ライブセットサウンドを入れ替える

1. 入れ替えたいライブセットサウンドを呼び出します。
2. Swap画面を開きます。

[MENU]ボタン → 「Job」 → 「Live Set Manager」 → 「Swap」



3. 入れ替えるライブセットサウンドを選びます。
エンコーダーダイヤルで入れ替えたいライブセットサウンドを選びます。[ENTER]ボタンを押すと、画面に「Executing..」 → 「Completed.」と表示され、トップ画面に戻ります。

■ ライブセットサウンドをコピーする

1. コピーしたいライブセットサウンドを呼び出します。
2. Copy画面を開きます。

[MENU]ボタン → 「Job」 → 「Live Set Manager」 → 「Copy」



3. コピー先のライブセットサウンドを選びます。
エンコーダーダイヤルでコピー先のライブセットサウンドを選びます。[ENTER]ボタンを押すと、画面に「Executing..」 → 「Completed.」と表示され、トップ画面に戻ります。

⑭ [SPLIT POINT]ボタン

スプリットポイントを変更します。エンコーダーダイヤルでポイントを変更するか、スプリットポイントに設定したい鍵盤を押すことでもポイントを変更できます。設定値はライブセットサウンドに保存されます。

スプリット

スプリットは、右手側と左手側とで別のボイスを鳴らす機能です。右側の鍵盤と左側の鍵盤を分ける位置を「スプリットポイント」と呼びます。

NOTE

- スプリットポイントの初期値は「G2」です。
- スプリットポイントで設定した音高は、右手側の鍵域の最低音になります。
- スプリットポイントは、[SETTINGS]ボタン → 「Function」 → 「Split Point」からも変更できます(31ページ)。

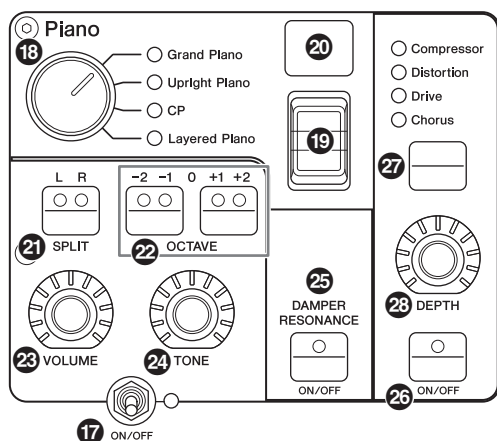
⑮ [TRANPOSE]ボタン

音高を半音単位で移調します。また、設定値はライブセットサウンドに保存されます。[SETTINGS]ボタン → 「Function」 → 「Sound Transpose」からも変更できます(31ページ)。

⑯ [SETTINGS]ボタン

選択中のライブセットサウンドの詳細設定を行なう画面を表示します(31ページ)。ここでの設定値はライブセットサウンドに保存されます。

ピアノセクション



17 ボイスセクション[ON/OFF]スイッチ

各ボイスセクションの[ON/OFF]スイッチを切り替えることで、それぞれのボイスセクションを有効にする(オン)か、無効にする(オフ)かを切り替えます。ボイスセクション[ON/OFF]スイッチのランプが点灯しているボイスは、押鍵で鳴ることを示します。

■ セクションをコピーする

以下の手順で、各セクションの設定を簡単に複製できます。

1. コピーしたいセクションを選びます。

コピーしたいセクションが入っているライブセットサウンドを選択し、[MENU]ボタン → 「Job」 → 「Section Manager」 → 「Copy」からコピーしたいセクションを選びます。

画面に「Section copied.」と表示され、トップ画面に戻ります。

2. ペーストするセクションを選びます。

ペーストしたいセクションが入っているライブセットサウンドを選択し、[MENU]ボタン → 「Job」 → 「Section Manager」 → 「Paste」からペーストするセクションを選びます。

画面に「Section pasted.」と表示され、トップ画面に戻ります。

18 ボイスカテゴリーセレクター

各ボイスセクションのボイスは4つのカテゴリーに分類されています。ボイスを選択するには、まず各ボイスセクションのカテゴリーを選びます。

ボイスセクション	ボイスカテゴリー
ピアノセクション	Grand Piano, Upright Piano, CP, Layered Piano
エレクトリック ピアノセクション	Rd, Wr, Clv, DX

ボイスセクション ボイスカテゴリー

サブセクション Pad/Strings、Organ、Chromatic Perc.、Others

19 ボイスセレクトスイッチ

ボイスカテゴリーセレクターで選んだカテゴリーに属するボイスを選びます。この楽器で演奏できるボイスについては37ページをご覧ください。

20 ボイスナンバーディスプレイ

選択中のボイスナンバーを表示します。

21 SPLIT [L R]ボタン

押すたびに発音エリア(L/R)が切り替わり、スプリットの設定ができます。点灯している発音エリアが発音されます。

NOTE

スプリットポイントは[SPLIT POINT]ボタン(11ページ)、または[SETTINGS]ボタン → 「Function」 → 「Split Point」からも変更できます(31ページ)。

22 OCTAVE [-2 -1]/[+1 +2]ボタン

鍵域を1オクターブ単位で切り替えます。
[-2 -1]ボタンと [+1 +2]ボタンを同時に押すと、設定は「0」に戻ります。

23 [VOLUME]ノブ

各ボイスセクションの音量を調節します。

24 [TONE]ノブ

各ボイスセクションのトーンを調節します。ノブをセンターに合わせるとフラットな音質になります。右に回すと高域と低域をブーストし、左に回すとカットします。

25 DAMPER RESONANCE [ON/OFF] ボタン

ダンパーレゾナンスエフェクトをかける(オン)か、かけないか(オフ)を切り替えます。ダンパーペダルを踏んだときの開放弦による音の広がりを再現するエフェクトです。

26 インサクションエフェクト[ON/OFF] ボタン

エフェクトをかける場合、ランプを点灯(オン)させます。

NOTE

消灯(オフ)状態でエフェクトの設定値を確認するには、[MENU]ボタンから「Control Panel」 → 「Display Lights」 → 「Ins Effect」を「On」に設定してください(28ページ)。

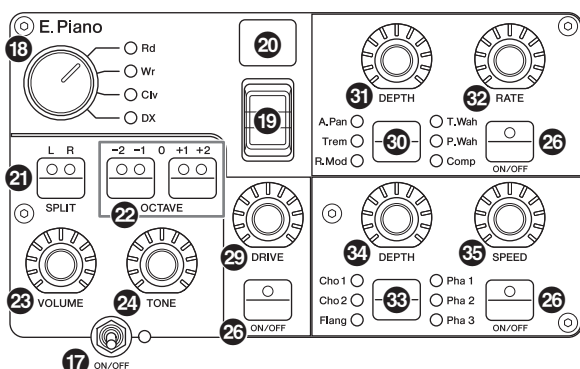
27 インサクションエフェクト切り替えボタン

押すたびに下記のエフェクトが切り替わります。選択されているエフェクトのランプが点灯します。

エフェクト	効果
Compressor	ステレオコンプレッサー。[DEPTH]ノブを右に回すとコンプレッサー効果が得られます。
Distortion	モノラル仕様のコンプレッサー+ディストーション。[DEPTH]ノブのセンターまではコンプレッサー、それより右に回すと歪みが出ます。
Drive	ドライブエフェクト。[DEPTH]ノブを右に回すと歪みが増え、最終的にはラジオトーンのようになります。
Chorus	ステレオコーラス。[DEPTH]ノブを右に回すとコーラス効果が深くなります。

28 [DEPTH]ノブ

エフェクトがかかる深さを調節します。

エレКТリックピアノセクション**29 [DRIVE]ノブ**

ドライブエフェクトのかかり具合を調節します。真空管アンプの歪みを再現するエフェクトです。

30 インサクションエフェクト切り替えボタン

押すたびに下記のエフェクトが切り替わります。選択されているエフェクトのランプが点灯します。

エフェクト	効果
A.Pan	ビンテージ・エレクトリックピアノに内蔵されたオートパン。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブで速さを調節します。
Trem	ビンテージ・エレクトリックピアノに内蔵されたトレモロ。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブで速さを調節します。

エフェクト	効果
R.Mod	リングモジュレーター。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブで周波数を調節します。[RATE]ノブの設定によって、トレモロからリングモジュレーターまで幅広く使えます。
T.Wah	タッチの強弱に反応するワウ。[DEPTH]ノブで効果の強さ、[RATE]ノブでレゾナンスの量を調節します。
P.Wah	FOOT CONTROLLER [2]端子(初期値の場合)にエクスペッションペダルをつなぐことにより動作するワウ。[DEPTH]ノブで歪み量、[RATE]ノブでレゾナンスの量を調節します。
Comp	ステレオコンプレッサー。[DEPTH]ノブで効果の深さ、[RATE]ノブで音量を調節します。

31 [DEPTH]ノブ

エフェクトがかかる深さを調節します。

32 [RATE]ノブ

エフェクトがかかる速さを調節します。

33 インサクションエフェクト切り替えボタン

押すたびに下記のエフェクトが切り替わります。選択されているエフェクトのランプが点灯します。

エフェクト	効果
Cho 1	ヤマハ伝統の多重コーラス。[DEPTH]ノブで深さ、[SPEED]ノブで速さを調節します。
Cho 2	TX816によって生み出される分厚いデチューンコーラスを再現。[DEPTH]ノブで深さ、[SPEED]ノブで速さを調節します。
Flang	ステレオフィランジャー。[DEPTH]ノブで深さとフィードバック量、[SPEED]ノブで速さを調節します。
Pha 1	スムーズで独特のうねりが特徴のフェーザー。[DEPTH]ノブはセンターより左と右でうねりがかわります。[SPEED]ノブで速さを調節します。
Pha 2	定番のフェーザー。[DEPTH]ノブで効果の強さ、[SPEED]ノブで速さを調節します。
Pha 3	特性の異なる2系統のフェーザーを内蔵。[DEPTH]ノブでPha 1とPha 2の深さを切り替え、[SPEED]ノブで速さを調節します。

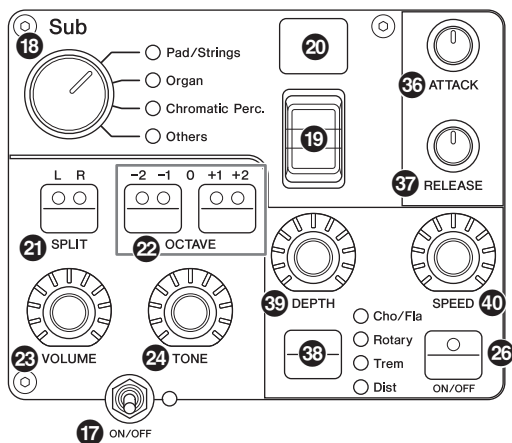
34 [DEPTH]ノブ

エフェクトがかかる深さを調節します。

35 [SPEED]ノブ

エフェクトの速さを調節します。

サブセクション



36 [ATTACK]ノブ

音が立ち上がるまでの時間を調節します。

37 [RELEASE]ノブ

音が消えるまでの時間を調節します。

NOTE

ライブセットサウンド変更後に[ATTACK]ノブと[RELEASE]ノブを操作しても、そのライブセットサウンドの設定値に達するまで、ノブ操作は実際のアタック/リリースに影響しません。その間、LCD上の設定値は括弧付きで表示されます。

38 インサージョンエフェクト切り替えボタン

押すたびに下記のエフェクトが切り替わります。選択されているエフェクトのランプが点灯します。

エフェクト	効果
Cho/Fla	コーラス/フランジャー。[DEPTH]ノブで深さ、[SPEED]ノブで速さを調節します。[DEPTH]ノブのセンターまではコーラス、センターより右に回すとジェットサウンド等のフランジャーとして使えます。
Rotary	ロータリースピーカー。[DEPTH]ノブでローター/ホーンバランス、[SPEED]ノブで回転スピードを調節します。[DEPTH]ノブを右に回すとホーン寄り、左に回すとローター寄りになります。[SPEED]ノブはセンターより左に回すとゆっくり、センターより右に回すと速くなります。[SPEED]は、モジュレーションレバーでも切り替えることができます。
Trem	ノーマルなトレモロ。[DEPTH]ノブで深さ、[SPEED]ノブで速さを調整します。
Dist	ブリティッシュ系ハードロックタイプの歪みエフェクト。[DEPTH]ノブで歪み量、[SPEED]ノブでプレゼンスを調節します。

39 [DEPTH]ノブ

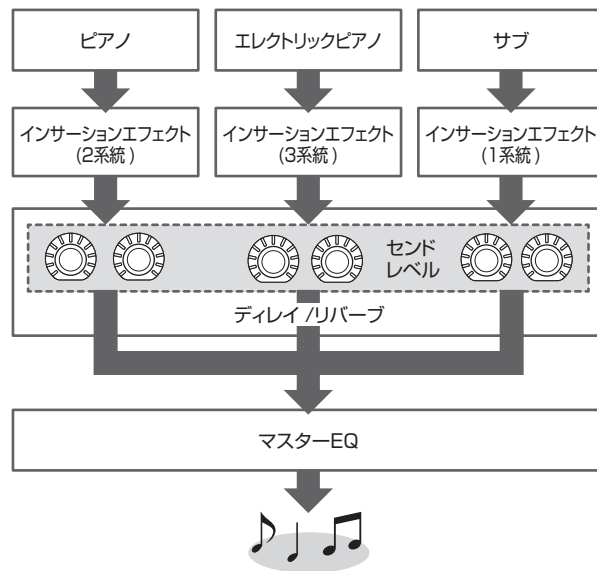
エフェクトがかかる深さを調節します。

40 [SPEED]ノブ

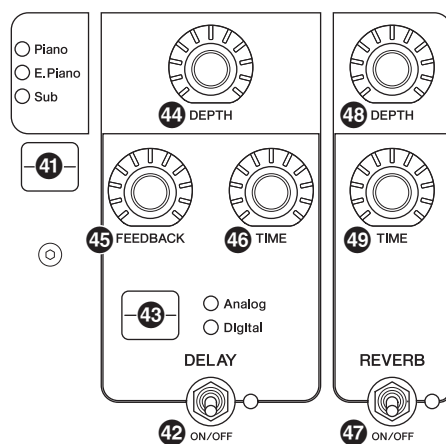
エフェクトの速さを調節します。

エフェクト

CP88、CP73には、ボイスセクションごとに設定できるインサージョンエフェクト、すべてのボイスセクションに設定できるディレイエフェクト、リバーブエフェクト、マスターEQが搭載されています。下図は音声信号の流れです。



ディレイセクション/リバーブセクション



41 エフェクトレベル表示切り替えボタン

ディレイエフェクトとリバーブエフェクトへのセンドレベルを調節するボイスセクションを選びます。各ボイスセクションからのセンドレベルは、ディレイエフェクトとリバーブエフェクトの[DEPTH]ノブで調節できます。すべてのボイスセクションが点灯している場合、各ボイスセクションからのセンドレベルを共通に調節できます。ボイスセクションごとに異なるセンドレベルが設定

されている場合、[DEPTH]ノブは消灯していますが、新たにセンドレベルを調節した場合、[DEPTH]ノブは点灯し、ボイスセクションごとに設定されていた値から変更されます。

■ ディレイセクション

42 DELAY [ON/OFF]スイッチ

ディレイエフェクトをかける(オン)か、かけない(オフ)かを切り替えます。ディレイエフェクトは、入力音を時間的に遅らせて発音させ、やまびこのような効果を作ります。音の奥行きや広がりを作ったり、音を太くしたりなど、さまざまな使い方があります。

43 [Analog/Digital]切り替えボタン

アナログディレイとデジタルディレイを切り替えます。選択されているエフェクトのランプが点灯します。

エフェクト	効果
Analog	アナログディレイ特有の温かいサウンドが特徴。[DEPTH]ノブで深さ、[FEEDBACK]ノブで繰り返し回数、[TIME]ノブでディレイタイムを調節します。ディレイタイムは最大800 msです。
Digital	クリーンなデジタルディレイ。[DEPTH]ノブで深さ、[FEEDBACK]ノブで繰り返し回数、[TIME]ノブでディレイタイムを調節します。ディレイタイムは最大1,486 msです。

44 [DEPTH]ノブ

エフェクトのかかる深さを調節します。また、エフェクトレベル表示切り替えボタンを選択することで、ボイスセクションごとにセンドレベルを調節できます。

45 [FEEDBACK]ノブ

ディレイエフェクト出力を再び入力へ戻すレベルを設定します。

NOTE

フィードバックの値が大きい場合、発振して音が止まらない状態になります。その場合、フィードバックの設定値を下げるか、DELAY [ON/OFF]スイッチをオフに設定してください。発振して音が止まらない状態で他のライブセットサウンドに変更した場合、変更前のディレイの発振音に対してディレイセクションの操作子は効果しなくなりますが、現在選択中のライブセットサウンドを再度選択し直すことで音は止まります。

46 [TIME]ノブ

フィードバックディレイの長さを設定します。

■ リバーブセクション

47 REVERB [ON/OFF]スイッチ

リバーブエフェクトをかける(オン)か、かけない(オフ)かを切り替えます。リバーブエフェクトは、残響効果や、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような臨場感を加えることができます。

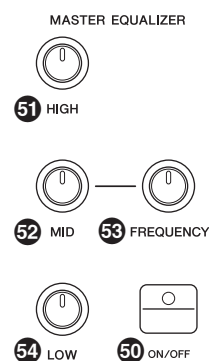
48 [DEPTH]ノブ

エフェクトのかかる深さを調節します。また、エフェクトレベル表示切り替えボタンを選択することで、ボイスセクションごとにエフェクトレベルを調節できます。

49 [TIME]ノブ

リバーブエフェクトがかかる長さ(最大30 s)を設定します。

マスター EQ



50 MASTER EQUALIZER [ON/OFF] ボタン

マスター EQをかける(オン)か、かけない(オフ)かを切り替えます。マスター EQは、サウンド全体の音質を補正します。

NOTE

マスター EQの設定は、ライブセットサウンドには保存されません。

51 [HIGH]ノブ

高音域(5 kHz)のゲイン(-12~+12)を設定します。

52 [MID]ノブ

中音域(100~10 kHz)のゲイン(-12~+12)を設定します。

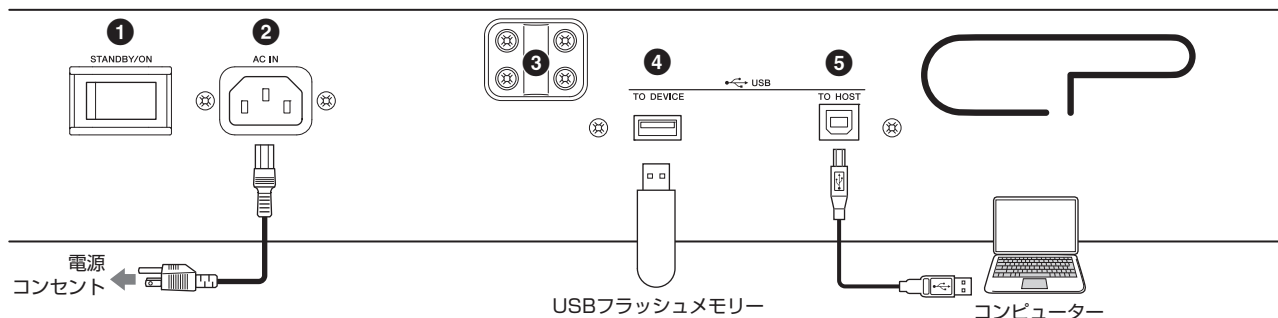
53 [FREQUENCY]ノブ

中音域の中心周波数を設定します。

54 [LOW]ノブ

低音域(80 Hz)のゲイン(-12~+12)を設定します。

リアパネル



① [STANDBY/ON]スイッチ

電源のスタンバイとオンを切り替えます。

② [AC IN]端子

付属の電源コードを接続します。

③ 譜面立て取り付け穴

別売の譜面台を取り付けるために使う一対の穴です。

④ USB [TO DEVICE]端子

本体とUSBフラッシュメモリーとを接続するために使います。これにより、本体で制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存したり、またUSBフラッシュメモリーから本体へデータを読み込んだりできます。

NOTE

この楽器では、USB [TO DEVICE]端子に接続して使用できるのは、USBフラッシュメモリーのみです。USB対応のハードディスクドライブやCD-ROMドライブ、またUSBハブなどは使用できません。

⑤ USB [TO HOST]端子

本体とコンピューターのUSB端子とを、USBケーブルで接続するために使います。これにより、コンピューターやiPhone、iPadなどのスマートデバイスと本体を接続して、MIDIデータ、オーディオデータの送受信ができます。MIDIケーブルでの送受信と違って、USBケーブルではポート信号を扱えます。この楽器で扱えるポートについては、23ページをご参照ください。

NOTE

- オーディオデータの送受信は、サンプリング周波数 44.1kHz、2チャンネル(1ステレオチャンネル)です。
- iPhoneまたはiPadとの接続については25ページをご参照ください。

⑥ MIDI [IN]/[OUT]端子

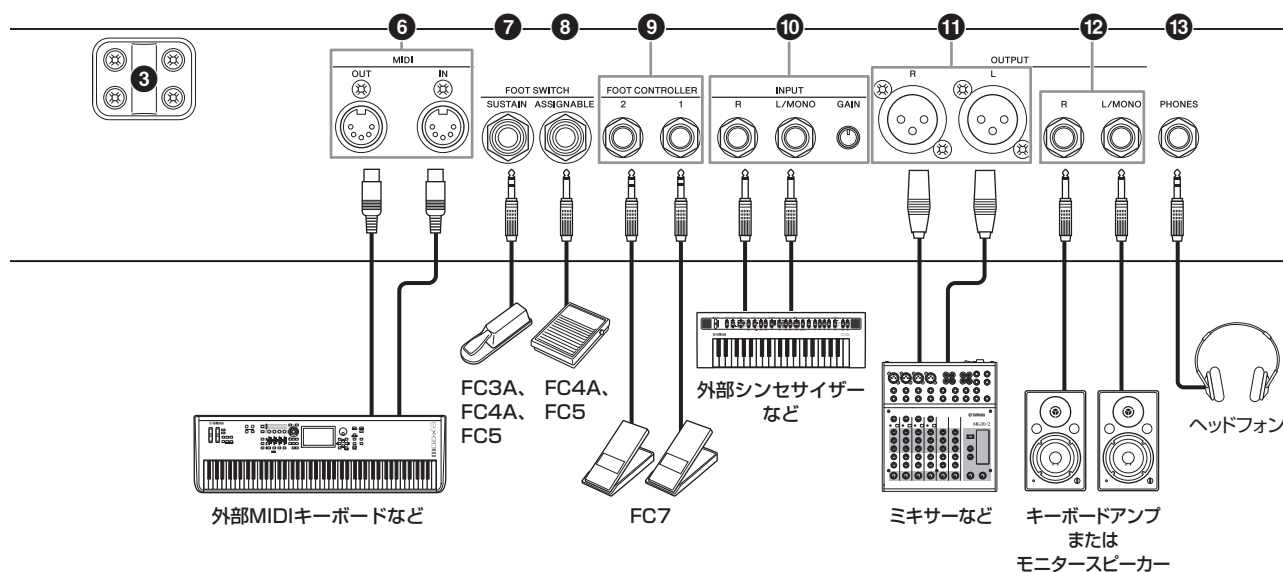
市販のMIDIケーブルを使って、本体のMIDI [IN]/[OUT]端子と外部MIDI機器のMIDI端子を接続します。本体から外部MIDI機器をコントロールしたり、外部MIDIキーボードやシーケンサーで本体の音源を鳴らしたりすることができます。

⑦ FOOT SWITCH [SUSTAIN]端子

付属のフットペダルFC3Aを接続し、サステイン専用に使います。

⑧ FOOT SWITCH [ASSIGNABLE]端子

別売のフットペダルFC4A/FC5を接続します。この端子に接続したフットペダルには、ソフトペダルやソフトペダル、ライブセットの切り替えなど、さまざまな機能を割り当てることができます。初期設定では、「Live Set+」が割り当てられています。スイッチ機能の割り当ては、[MENU]ボタン → 「General」 → 「Keyboard/Pedal」 → 「Foot Switch Assign」から設定できます(28ページ)。割り当てできるパラメーターについては38ページをご参照ください。



⑨ FOOT CONTROLLER [1]/[2]端子

別売のフットコントローラー FC7を接続します。ボリュームやボイスセクションのトーンなどさまざまなパラメーターを割り当てて使用します。初期設定では、FOOT CONTROLLER [1]には「Expression」、FOOT CONTROLLER [2]には「Pedal Wah」が割り当てられています。これにより、割り当てたパラメーターの機能を足元でコントロールできます。コントロール機能の割り当ては、[SETTINGS]ボタン → 「Controllers」 → 「FC1 Assign」/「FC2 Assign」から設定できます(34ページ)。割り当てできるパラメーターについては38ページをご参照ください。

⑩ INPUT [L/MONO]/[R]端子/ [GAIN]ノブ

INPUT [L/MONO]/[R]端子に接続したほかのシンセサイザーなどからの出力を、楽器本体のサウンドにミックスして出力します。本体とのボリュームのバランスは[GAIN]ノブで調節します。

⑪ OUTPUT [L]/[R]端子

オーディオ信号をバランス出力するXLR端子です。

⑫ OUTPUT [L/MONO]/[R]端子

オーディオ信号を出力する端子(標準ジャック)です。アンバランス接続に対応しています。モノラル出力したい場合は、[L/MONO]端子だけに接続します。

NOTE

- 接続する外部オーディオ機器に合わせて、⑪と⑫の端子をそれぞれ使い分けてください。
- ⑪と⑫それぞれの端子に接続した場合、オーディオ信号はそれぞれの端子から同時に出力されます。

⑬ [PHONES]端子

ヘッドフォンを接続します。ステレオ標準ジャックです。

⚠ 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った状態で行ってください。

NOTE

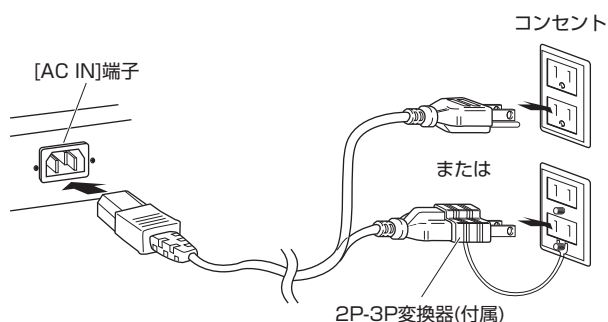
ヘッドフォンでは、OUTPUT [L]/[R]端子やOUTPUT [L/MONO]/[R]端子の出力と同じサウンドをモニターできます。OUTPUT [L]/[R]端子やOUTPUT [L/MONO]/[R]端子からのサウンドは、ヘッドフォンの抜き差しに関係なく出力されます。

ご使用前の準備

電源の準備

次の手順で、付属の電源コードを接続します。電源コードを接続する前に、本体の[STANDBY/ON]スイッチがスタンバイの状態になっていることを確認してください。

1. 付属の電源コードのプラグを本体リアパネルの[AC IN]端子に接続します。
2. 電源コードのもう一端のプラグを電源コンセント(AC100V)に接続します。



NOTE

電源コードを外すときは、逆の手順で行なってください。



警告

- 電源コードは、必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。
- 本製品に同梱されている電源コードを他の製品に使用しないでください。製品の故障や火災の原因になります。
- 電源は必ずAC100Vを使用してください。

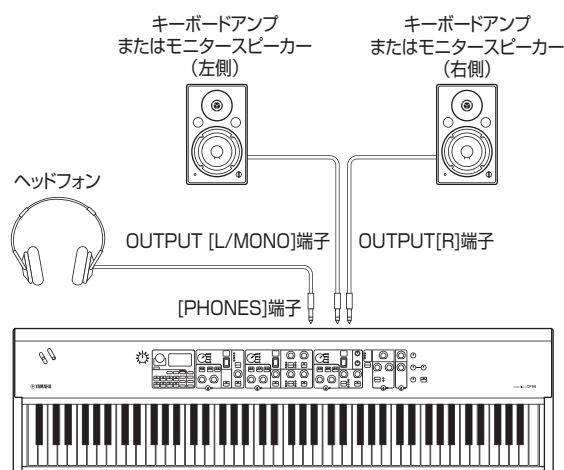


注意

- 本機は、アース接続を行なうことを前提として設計されています。感電と機器の損傷を防ぐため、付属の電源コードを使って、上図のとおりアース接続を確実に行ってください。なお、接続方法がわからないときは、巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。
- [STANDBY/ON]スイッチがスタンバイの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。

スピーカーやヘッドフォンの準備

音を鳴らすための準備をします。キーボードアンプやモニタースピーカー、ヘッドフォンをご用意いただき、下図のように接続します。接続の際には、接続する機器をよく確認して別途ケーブルをご用意ください。



電源を入れる/切る

電源を入れる前に、本体とキーボードアンプやモニタースピーカーのボリュームが最小になっていることを確認します。キーボードアンプやモニタースピーカーに接続しているときは、次の手順で電源をオン/オフしてください。

■ 電源を入れるとき

本体の[MASTER VOLUME]を最小(一番左)にする → 本体の[STANDBY/ON]スイッチをオンにする → アンプまたはスピーカーの電源を入れる

■ 電源を切るとき

本体の[MASTER VOLUME]を最小(一番左)にする → アンプまたはスピーカーの電源を切る → 本体の[STANDBY/ON]スイッチをスタンバイにする

オートパワーオフ機能

オートパワーオフとは、本体が約30分間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。初期設定では、「Disable」(無効)に設定されています。

■ オートパワーオフの設定

[MENU]ボタン → 「General」 → 「Auto Power Off」 → 「Enable」(有効)で設定できます(28ページ)。

注記

- オートパワーオフで電源が切れた場合、保存していないデータは消去されます。電源が切れる前に、必ず保存してください。
- 本体の状態によっては、一定時間操作せずにオートパワーオフの設定時間が経過しても電源が切れない場合があります。使用後は、手で本体の電源を切ってください。

工場出荷時の状態に戻す(ファクトリーリセット)

すべての設定を工場出荷時の状態(初期設定)に戻す機能をファクトリーリセット機能と言います。[MENU]ボタン → 「Job」 → 「Factory Reset」 から初期設定に戻せます(30ページ)。

注記

ファクトリーリセットを実行すると、保存したライブセットサウンド、MENU画面、SETTINGS画面の設定は、すべて初期設定に書き換えられてしまいます。大切なデータはあらかじめUSBフラッシュメモリーなどに保存しておいてください。

NOTE

プリセットのライブセットサウンドの詳細設定については35ページをご覧ください。

基本構造と画面表示

ボイスを選ぶ

この楽器のボイスは、ピアノセクション、エレクトリックピアノセクション、サブセクションの3つのボイスセクションに分かれています。

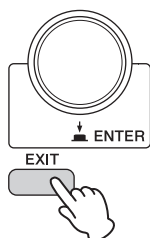
各ボイスセクションの[ON/OFF]スイッチを切り替えることで、それぞれのボイスセクションを有効にする(オン)か、無効にする(オフ)かを切り替えることができます。ボイスセクション[ON/OFF]スイッチのランプが点灯しているボイスは、押鍵で鳴ることを示します。複数のボイスセクションをオンに設定すると、ボイスがレイヤー(同時に発音)します。



ON/OFF

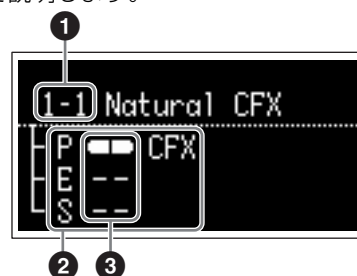
表示画面からの抜け方

MENU画面とSETTINGS画面は階層構造になっています。現在表示されている画面から前の画面に戻りたい場合は、[EXIT]ボタンを押します。また、[EXIT]ボタンを何度か押すことにより、電源起動後に表示されるトップ(ライブセットサウンド)画面に戻ります。



画面の見かた

ここでは、初期設定(工場出荷時)の状態ではじめに開くトップ(ライブセットサウンド)画面について説明します。



① ライブセットサウンドナンバー


初期設定での電源起動時にはライブセットサウンド「1-1」を表示します。パワーオンサウンド機能で設定を変更することもできます(29ページ)。


② ボイスセクション

ピアノセクション(P)、エレクトリックピアノセクション(E)、サブセクション(S)を意味しており、それぞれのボイスセクションで選択されているボイスを表示します。ボイスセクションがオンになっているボイスはレイヤーします。ボイスセクションがオフになっているボイスは発音せず、画面にボイス名が表示されません。

③ スプリット

スプリットの状態を表示します。

 スプリットポイントより低音域にボイスがアサインされていることを示します。

 スプリットポイントより高音域にボイスがアサインされていることを示します。

ファイル名/ライブセットサウンド名の編集

■ ファイル名の編集

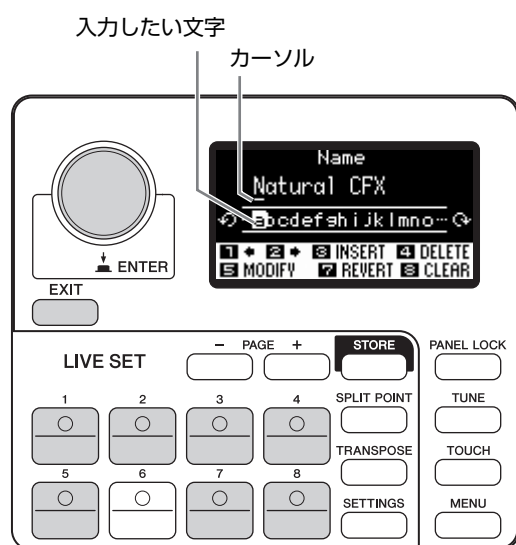
「本体の設定をUSBフラッシュメモリーにセーブする」
(21ページ)

■ ライブセットサウンド名の編集

名前を編集したいライブセットサウンドを選択 →
[SETTINGS]ボタン → 「Name」 → 名前を編集 →
[STORE]ボタン → [ENTER]ボタン

NOTE

[STORE]ボタンで保存しない限り、編集内容は楽器本体に保存されません。



ライブセットサウンド[1]/[2]ボタンで、編集したい文字にカーソルを合わせます。エンコーダーダイヤルで文字を選択し、ボタンに割り当てられた以下の編集機能を使って名前を編集します。

ボタン	機能
ライブセットサウンド[1] 1 +	カーソルを左に移動
ライブセットサウンド[2] 2 +	カーソルを右に移動
ライブセットサウンド[3] 3 INSERT	入力したい文字をカーソル位置に挿入
ライブセットサウンド[4] 4 DELETE	カーソル位置の文字を削除
ライブセットサウンド[5] 5 MODIFY	入力したい文字をカーソル位置の文字に上書き
ライブセットサウンド[7] 7 REVERT	全文字を編集前に戻す
ライブセットサウンド[8] 8 CLEAR	全文字を削除
[ENTER]/[EXIT]	編集を終了

本体の設定をセーブ/ロードする

File画面([MENU]ボタン → 「File」)では、システム全体の設定のほか、本体で作成したライブセット、ライブセットサウンドなどのデータをUSBフラッシュメモリーに保存したり(セーブ)、USBフラッシュメモリーからデータを読み込んだり(ロード)します。

本体の設定をUSBフラッシュメモリーにセーブする

1. USBフラッシュメモリーを本体のUSB [TO DEVICE]端子に接続します。
2. File画面を開きます。
[MENU]ボタン → 「File」を選びます。
3. 保存する内容を選びます。
以下の内容ごとにUSBフラッシュメモリーに保存できます。

ファイルタイプ	内容
Back Up File	本体に保存されたシステム設定を含むすべてのデータ
Live Set All File	本体に保存されたすべてのライブセットページ
Live Set Page File	本体に保存されたライブセットページ
Live Set Sound File	本体に保存されたライブセットサウンド

4. Save画面を開きます。

「Save」を選びます。

■ 既存のファイルに上書きする場合

画面に表示されたファイル名の中から、上書きしたいファイルを選びます。

■ 新規ファイルとして保存する場合

「New File」を選ぶと、保存ファイル名の編集画面が表示されます。ファイル名の編集方法は、「ファイル名/ライブセットサウンド名の編集」をご覧ください。



ファイル名編集画面

USBフラッシュメモリーにセーブした本体の設定をロードする

注記

読み込みを実行すると、本体に保存されているデータは消えてしまいます。大切なデータは、あらかじめUSBフラッシュメモリーに保存しておくことをおすすめします。

1. USBフラッシュメモリーを本体のUSB [TO DEVICE]端子に接続します。
2. File画面を開きます。
[MENU]ボタン → 「File」を選びます。
3. 本体に読み込む内容を選びます。

ファイルタイプ	内容
Back Up File (拡張子: .X9A)	USBフラッシュメモリーに保存したシステム設定を含む、すべてのデータ
Live Set All File (拡張子: .X9L)	USBフラッシュメモリーに保存したすべてのライブセットページ
Live Set Page File (拡張子: .X9P)	USBフラッシュメモリーに保存したライブセットページ (現在選ばれているライブセットページにロードされます)
Live Set Sound File (拡張子: .X9S)	USBフラッシュメモリーに保存したライブセットサウンド (現在選ばれているライブセットサウンドにロードされます)

4. 「Load」を選択し、[ENTER]ボタンを押します。

読み込みたいファイルが入っているフォルダーを選択して[ENTER]ボタンを押します。

5. USBフラッシュメモリー内のファイルを選びます。

画面に「Loading..」 → 「Completed.」と表示され、トップ画面に戻ります。

読み込みをキャンセルする場合は、「Cancel」を選択し、[ENTER]ボタンを押します。

USB [TO DEVICE]端子ご使用上の注意

この楽器のUSB [TO DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

NOTE

USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

この楽器でご利用いただけるUSB機器は、USBフラッシュメモリーのみです。動作確認済みUSBフラッシュメモリーについては、ご購入の前にインターネット上の下記URLでご確認ください。「その他のドキュメント」を開き、言語を選択して「製品名またはキーワード」にモデル名を入力し「検索」をクリックします。

<https://jp.yamaha.com/support/>

本機では、USB2.0～3.0の機器がご使用できますが、機器への保存や機器からの読み込みにかかる時間は、データの種類や本機の状態により異なります。

NOTE

USB [TO DEVICE]端子の定格は、最大5V/500mAです。定格を超えるUSB機器は故障の原因になるため、接続しないでください。

■ USB機器の接続

USB [TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。

■ USBフラッシュメモリーのフォーマット

USBフラッシュメモリーの中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB [TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを接続してセーブ/ロードする際、「Connect USB device」というメッセージが表示される場合は、フォーマットを実行してください(30ページ)。

注記

フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

■ 誤消去防止

USBフラッシュメモリーには、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用前にお使いのUSBフラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

■ USBフラッシュメモリーの抜き差し

USBフラッシュメモリーを外すときは、保存/コピー/削除などデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

注記

USBフラッシュメモリーの頻繁な抜き差しをしないでください。楽器本体の機能が停止するおそれがあります。保存/コピー/削除/フォーマットなどデータのアクセス中やUSBフラッシュメモリーのマウント中は、USBケーブルを抜いたり、USBフラッシュメモリーを抜いたり、楽器本体の電源を切ったりしないでください。USBフラッシュメモリーが壊れたり、楽器本体/USBフラッシュメモリーのデータが壊れたりするおそれがあります。

外部MIDI機器と接続して使う

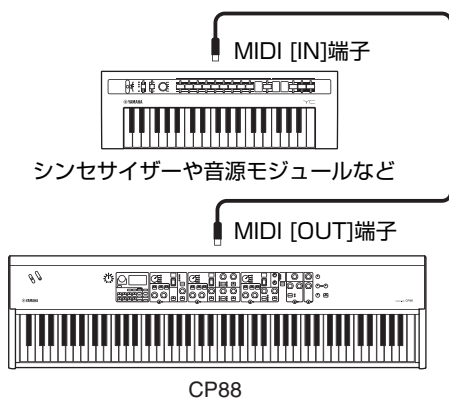
市販のMIDIケーブルを使って、楽器本体のMIDI [IN]/[OUT]端子と、外部MIDI機器(シンセサイザー、音源モジュールなど)のMIDI端子を接続してみましょう。これにより、外部MIDI機器とのMIDIデータの通信が可能になります。MIDIデータの入出力口として、MIDI [IN]/[OUT]端子、USB [TO HOST]端子、もしくはその両方を使用できます。ここでは、MIDI [IN]/[OUT]端子を使って接続する例を紹介しています。

NOTE

MIDI Portの設定方法は、26ページをご参照ください。

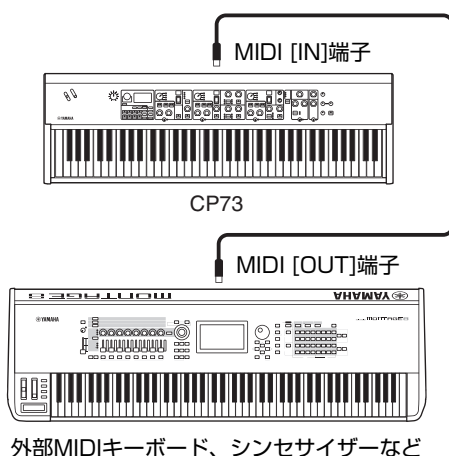
本体でシンセサイザーや音源モジュールをコントロールする

本体の鍵盤操作で、他のMIDI音源の音を鳴らすことができます。本体のボイスだけでなく、ほかの音源を同時に鳴らしたい場合の使いかたです。



外部MIDIキーボードやシンセサイザーで本体の音源をコントロールする

本体の鍵盤ではなく外部MIDIキーボードの鍵盤演奏で、本体のボイスを鳴らしたり、ボイス変更などをコントロールしたりできます。



MIDI送信チャンネルと受信チャンネル

外部MIDIキーボードで本体の音を鳴らすために、外部MIDIキーボードのMIDI送信チャンネルと本体のMIDI受信チャンネルを合わせる必要があります。外部MIDIキーボードのMIDIチャンネルについては外部MIDIキーボードの取扱説明書でご確認ください。本体のMIDI受信チャンネルについては以下の確認をしてください。任意のMIDI受信チャンネルへ変更ができます。

[MENU]ボタン → 「General」 → 「MIDI Settings」 → 「MIDI Channel」 → 「Rx」から必要に応じて変更してください。

外部音源の音だけを鳴らしたい場合は、本体のボリュームを下げるか、[MENU]ボタン → 「General」 → 「Local Control」でLocal Controlを「Off」に設定します(28ページ)。

外部MIDI音源の受信チャンネルの設定方法については、外部MIDI音源の取扱説明書をご参照ください。

MIDIチャンネルとMIDIポート

MIDIチャンネルは「16」までしか規定されていませんが、16チャンネルを超えるMIDIデータを扱えるようにするための概念として「MIDIポート」があり、1ポートあたり16チャンネルを扱えるようになっています。この楽器では、下記の用途で2つのMIDIポートを使用します。

■ ポート1

この楽器の音源部が扱えるポートです。外部MIDI機器やコンピューターからこの楽器の音源部を鳴らしたい場合は、外部MIDI機器やコンピューター側でポート1に設定する必要があります。

■ ポート2

この楽器が受信したMIDIデータを、別のMIDI機器にそのまま転送する(スルーさせる)場合に使われるポートです。USB端子がない外部MIDI機器を、この楽器を経由してコンピューターと接続する場合などに使います。その場合、[MENU]ボタンから「General」→「MIDI Settings」→「MIDI Port」→「MIDI」を「Off」に、「USB」を「On」に設定してください。この楽器では、USB [TO HOST]端子経由で受信したMIDIポート2のデータは、MIDI [OUT]端子からスルーされ、MIDI [IN]

端子経由で受信したMIDIデータは、MIDIポート2のデータとしてUSB [TO HOST]端子からスルーされません。

この楽器とコンピューター間で、USBケーブルを使ってMIDI送受信をする場合、MIDIチャンネルだけでなく、MIDIポートも送信側と受信側で合わせる必要があります。上記用途に合わせて、外部機器側のポートの設定を行なってください。

コンピューターと接続して使う

本体とコンピューターを接続することで、DAWソフトウェアなどの音楽制作アプリケーションを使って、音楽制作の幅を広げることができます。

DAW

DAWとは、デジタルオーディオワークステーション (Digital Audio Workstation)の略で、オーディオの録音や編集、ミキシングなど一連の作業ができるアプリケーションソフトのことを指します。代表的なDAWソフトウェアとして、Cubase、Logic Pro、Ableton Live、Pro Toolsなどがあります。

本体をコンピューターと接続することで下記のような使い方ができます。

- DAWソフトウェアの外部音源やMIDIキーボードとして使用する
- 本体での演奏をコンピューター上のDAWソフトウェアにMIDIまたはオーディオ録音する。

コンピューターとの接続準備

本体とコンピューターを接続するには、USBケーブルとYamaha Steinberg USBドライバーが必要です。送受信できるデータは、オーディオデータとMIDIデータの両方です。次の手順に従って、接続の準備をしてください。

1. 以下のURLから、最新のYamaha Steinberg USBドライバーをダウンロードします。

<https://jp.yamaha.com/support/>

「取扱説明書」を開き、言語を選択して「製品名またはキーワード」にモデル名を入力し「検索」をクリックします。

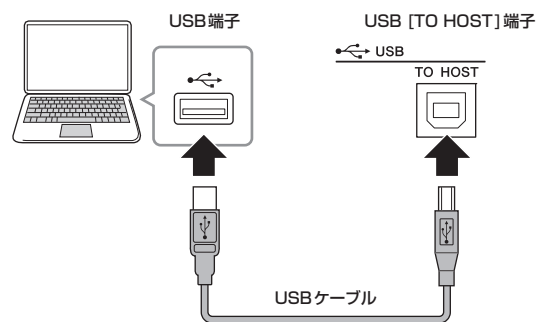
ダウンロードボタンを押したあと、ファイルの解凍および実行をします。

NOTE

- 動作環境については、前記URLをご覧ください。
- Yamaha Steinberg USBドライバーは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、前記URLをご確認ください。

2. Yamaha Steinberg USBドライバーをコンピューターにインストールします。

ダウンロードしたファイルに付属されているインストールガイドをご覧ください。手順の中の、楽器のUSB [TO HOST]端子をUSBケーブルでコンピューターと接続する箇所については、下図を参考にしてください。



3. 本体を、USB [TO HOST]端子を通してMIDIを送受信する状態に切り替えます。

[MENU] → 「General」 → 「MIDI Settings」 → 「MIDI Port」 → 「USB」を「On」に設定します。

USB [TO HOST]端子ご使用時の注意

USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動するか、本体の電源を入れなおしてください。

注記

- USBケーブルはABタイプのものご使用ください。USB3.0ケーブルはご使用になれません。
- USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- 本体の電源を入れる前に、USB [TO HOST]端子とコンピューターを接続してください。
- 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させる。
 - 本体からデータが送信されていないか確認する。(鍵盤を押すだけでも、本体からデータが送信されます。)
- 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔をあけて行ってください。

USBオーディオについて

USBオーディオで扱えるチャンネルは、サンプリング周波数44.1 KHzで、入力/出力ともに2チャンネル(1ステレオチャンネル)です。

USB [TO HOST]端子からのオーディオ入力信号は、OUTPUT [L]/[R]端子(XLR端子)、OUTPUT [L/MONO]/[R]端子、[PHONES]端子に出力されます。入力レベルは、[MENU]ボタン → 「General」 → 「USB Audio Volume」で調節できます。

USB [TO HOST]端子へのオーディオ出力信号は、OUTPUT [L]/[R]端子(XLR端子)、OUTPUT [L/MONO]/[R]端子、[PHONES]端子と同じ信号が出力されます。

NOTE

INPUT [L/MONO]/[R]端子からのオーディオ信号の入力は、この楽器本体のOUTPUT [L]/[R]端子(XLR端子)、OUTPUT [L/MONO]/[R]端子、[PHONES]端子からの出力のみで、USB [TO HOST]端子へは出力されません。

iPhone/iPadと接続する

NOTE

iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、iPhone/iPadの機内モードをオンにしてからWi-Fiをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。

注記

iPhone/iPadを不安定な場所に置かないでください。iPhone/iPadが落下して破損するおそれがあります。

この楽器に対応したアプリケーションを使うことにより、楽器をもっと便利に楽しむことができます。接続のしかたについて詳しくは、ウェブサイト上の「iPhone/iPad接続マニュアル」をご覧ください。

iPhone/iPad接続マニュアル

以下のウェブサイトアクセスし、「取扱説明書」を開きます。言語を選択して「製品名またはキーワード」に「iPhone/iPad」などを入力し「検索」をクリックします。
<https://jp.yamaha.com/support/>

対応のスマートデバイスやアプリケーションについて、詳しくはウェブサイト上の下記ページでご確認ください。

https://jp.yamaha.com/products/music_production/apps/

MENU LIST

[MENU]ボタンからシステム全体のさまざまな設定ができます。設定した値は本体に保存されます。

Operation

1. [MENU]ボタンを押します。
2. エンコーダーダイヤルと[ENTER]ボタンで設定したい項目を表示させます。
3. エンコーダーダイヤルで値を変更し、設定を確定します。
4. [ENTER]ボタンを押すと、トップ画面(ライブセットサウンド)に戻ります。

General

機能名	内容	
Master Tune	楽器全体のピッチをチューニングします。 設定値: 414.72 Hz – 466.78 Hz 初期設定: 440.00 Hz	
MIDI Settings	MIDI Port	USB USB [TO HOST]端子をMIDIメッセージの入出力口として使用する(On)か、しない(Off)かを設定します。 初期設定: On NOTE 「On」に設定した場合は、USBポート1を使用します。
	MIDI	MIDI [IN]/[OUT]端子をMIDIメッセージの入出力口として使用する(On)か、しない(Off)かを設定します。「On」を選択した場合、端子が有効になります。「Off」を選択した場合、MIDI端子で受信したMIDIメッセージはそのままUSBポート2に出力されます。USBポート2で受信したMIDIメッセージはそのままMIDI端子へ送信されます。 初期設定: On
	MIDI Channel	Tx MIDI送信チャンネルを設定します。「Off」に設定すると送信されません。 設定値: 1 – 16, Off 初期設定: 1
		Rx MIDI受信チャンネルを設定します。「All」に設定するとすべてのチャンネルで受信します。 設定値: 1 – 16, All 初期設定: 1
	MIDI Control	MIDIコントロールを設定します。 MIDIコントロールを「On」にすると、本体の有効な操作子から、CP88、CP73専用のコントロールチェンジメッセージが送信され、DAWソフトウェアや外部MIDI機器をコントロールできます。また、これらのメッセージを受信すると、メッセージに対応した有効な操作子の設定が変更されます。有効な操作子とは、ノブやスイッチが点灯して、設定値を変更できる状態の操作子を指します。 「Invert」に設定すると、使用していないセクションのコントロールチェンジメッセージを送受信できます。たとえば、ピアノとDAWソフトウェアのストリングスを組み合わせたライブセットサウンドを作成した場合、使用していないサブセクションの操作子をDAWソフトウェアのストリングスのボリュームやフィルターなどにアサインできます。 初期設定: Off NOTE 本体の操作子に対応したコントロールチェンジメッセージは変更できません。DAWソフトウェアのパラメーターをアサインする場合は、コンピューター側で設定してください(24ページ)。

機能名	内容	
MIDI Settings	MIDI Control (続き)	<p>■ MIDI Control = Onの場合 本体の有効な操作子からコントロールチェンジメッセージが送受信されます。</p> <p>NOTE ボイスセクション[ON/OFF]スイッチ、またはインサーションエフェクト[ON/OFF]ボタンがオフの状態であっても、「Display Lights」の設定(28ページ)によっては操作子が点灯状態となるため、コントロールチェンジメッセージが送受信されます。</p> <p>■ MIDI Control = Offの場合 本体の操作子の状態にかかわらず、コントロールチェンジメッセージは送受信されません。</p> <p>■ MIDI Control = Invertの場合 セクションが点灯状態となり、本体の操作子がすべて有効になります。ボイスセクション[ON/OFF]スイッチがオフの場合にのみ、コントロールチェンジメッセージを送受信します。</p> <p>NOTE 「Invert」に設定するとセクションは自動的に点灯状態となるため、「Display Lights」(Section、Ins Effect)の設定はできません。</p>
	Tx/Rx Pgm Change	<p>本体と外部MIDI機器との間でプログラムチェンジを送受信する(On)か、しない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p>
	Tx/Rx Bank Select	<p>本体と外部MIDI機器との間でバンクセレクトを送受信する(On)か、しない(Off)を設定します。</p> <p>初期設定: On</p>
	Controller Reset	<p>ライブセットサウンドを切り替えた場合、コントローラー (モジュレーションレバー、フットコントローラーなど)の値をそのまま使用する(Hold)か、初期値に戻す(Reset)かを設定します。</p> <p>「Reset」に設定した場合、ライブセットサウンド切り替え時のコントローラーのリセット値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ピッチベンド: 中央 • モジュレーションレバー: 最小 • エクスプレッション: 最大 • ペダルワウ: 最小 <p>初期設定: Reset</p>
Keyboard/ Pedal	Octave	<p>鍵盤の音の高さをオクターブ単位でシフトします。</p> <p>設定値: -3 – +3 初期設定: +0</p>
	Transpose	<p>鍵盤の音の高さを半音単位で移調します。</p> <p>設定値: -12 – +12 初期設定: +0</p>
	Touch Curve	<p>鍵盤を弾く強さに対するペロシティーの出方を決める、ペロシティーカーブを設定します。</p> <p>設定値: Normal, Soft, Hard, Wide, Fixed 初期設定: Normal</p>
	Fixed Velocity	<p>鍵盤を弾く強さにかかわらず、一定のペロシティーで音源を鳴らしたい場合に設定します。「Touch Curve」を「Fixed」に設定した場合に限り有効です。</p> <p>設定値: 1 – 127 初期設定: 64</p>

機能名	内容
Keyboard/ Pedal	Sustain Pedal Type FOOT SWITCH [SUSTAIN]端子に接続するサステインペダルの種類を選びます。 ハーフダンパー機能付きのペダルを使いたいときは「FC3A (HalfOn)」を選びます。 設定値: FC3A (HalfOn), FC3A (HalfOff), FC4A/FC5 初期設定: FC3A (HalfOn)
	Foot Switch Assign FOOT SWITCH [ASSIGNABLE]端子に接続したフットスイッチ操作に対応するコントロールチェンジナンバーを設定します。ここで設定したコントロールチェンジナンバーのMIDIメッセージを外部MIDI機器から受信した場合、本体はフットスイッチが操作されたものとみなします。 初期設定: Live Set +
Local Control	ローカルコントロールを設定します。 「Off」に設定すると、本体の鍵盤/コントローラー部と音源部が内部的に切り離され、鍵盤を弾いても音が出なくなります。ただし、ここでの設定には関係なく本体の鍵盤/コントローラー部の演奏情報はMIDI出力され、MIDI入力されたメッセージはMIDI設定に応じて本体音源部で処理されます。 初期設定: On
USB Audio Volume	USBオーディオの音量を設定します。 設定値: 0 – 127 初期設定: 64
Auto Power Off	オートパワーオフを有効にする(Enable)か、無効にする(Disable)かを設定します。 初期設定: Disable

Control Panel

機能名	内容
Panel Lock Settings	Live Set 左記の項目ごとに、PANEL LOCKを有効にする(On)か、無効にする(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Piano/E.Piano/Sub
	Delay/Reverb
	Master EQ
Display Lights	Section ピアノセクション、エレクトリックピアノセクション、サブセクション、ディレイセクション、リバーブセクションのランプを、各セクションの[ON/OFF]スイッチに連動して点灯させる(Off)か、常に点灯させる(On)かを設定します。 「MIDI Control」を「On」に設定した場合、点灯状態に応じてコントロールチェンジメッセージの送受信設定が変更になります(26ページ)。 初期設定: Off
	Ins Effect ピアノセクション、エレクトリックピアノセクション、サブセクションに含まれるインサクションエフェクトのランプをインサクションエフェクト[ON/OFF]ボタンに連動して点灯させる(Off)か、常に点灯させる(On)かを設定します。 初期設定: Off
	LCD SW トップ画面のLCDを表示させる(On)か、非表示にする(Off)かを設定します。 MENU画面やSETTINGS画面などで各種設定を行なうときは設定にかかわらず表示されます。 初期設定: On
	LCD Contrast LCD画面のコントラストを調整します。 設定値: 1 – 63 初期設定: 32

機能名	内容	
Advanced Settings	Section Hold	<p>「Enable」に設定すると、選択中のライブセットサウンドの各セクションの設定をホールド(保持)したまま、他のライブセットサウンドに移行できます。設定をホールドしたいセクションの[ON/OFF]スイッチを奥に長押しすると、ランプが点滅し、ホールド状態になります。解除するには、再度、セクションの[ON/OFF]スイッチを奥に押しします。</p> <p>たとえば演奏中、ライブセットサウンドにかかわらずリバーブの設定値を固定するには、「Enable」に設定し、リバーブセクション[ON/OFF]スイッチを奥に長押しします。</p> <p>初期設定: Disable</p>
	Live Set View Mode	<p>ライブセットサウンドを切り替えたとき、ライブセットビューを保持する(Keep)か、トップ画面に戻って表示する(Close)かを設定します。「Keep」に設定すると、演奏中でも常に8個のライブセットサウンド名を確認できます。</p> <p>初期設定: Close</p>
	Value Indication	<p>各セクションのノブの設定値を変更するときに、LCDに設定値を表示する(On)か、非表示にする(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p>
	SW Direction	<p>ボイスセレクトスイッチの動作を昇順にする(Default)か、降順にする(Reverse)かを設定します。</p> <p>初期設定: Default</p>
	Power On Sound	<p>本体の電源起動時に表示されるライブセットサウンドを設定します。</p> <p>初期設定: 1-1</p>
	MIDI Device Number	<p>MIDIデバイスナンバーを設定します。外部MIDI機器とのバルクダンブやパラメーターチェンジなどのシステムエクスクルーシブメッセージの送受信を行なう場合、このナンバーを相手側機器のデバイスナンバーと合わせる必要があります。</p> <p>設定値: 1 – 16, All, Off</p> <p>初期設定: All</p>

Job

機能名	内容		
Live Set Manager	Swap	選択中のライブセットサウンドを任意のライブセットサウンドと入れ替えます。	
	Copy	選択中のライブセットサウンドを任意のライブセットページと位置にコピーします。	
	Initialize	選択中のライブセットサウンドを初期設定に戻します。	
Section Manager	Copy	Piano	選択中のピアノセクションの設定値をコピーします。
		E.Piano	選択中のエレクトリックピアノセクションの設定値をコピーします。
		Sub	選択中のサブセクションの設定値をコピーします。
	Paste	Piano	コピーした設定値をペーストします。コピー元がない場合、またはコピー元とペースト先のセクションが異なる場合はペーストできません。
		E.Piano	
		Sub	

機能名	内容	
Edit Recall	Recall	ライブセットサウンドの編集後、保存せずに別のライブセットサウンドを選ぶと、編集したライブセットサウンドを再度選んでも編集した状態には戻りません。このような場合にこの機能を実行すると、編集の最終状態を呼び出すことができます。
		注記 電源を切ると最終状態は消去されます。ご注意ください。
Menu Initialize		MENU画面で設定できる項目を初期設定に戻します。
Factory Reset		本体を工場出荷時の状態に戻します。

File

機能名	内容	
Back Up File	Save	本体に保存されたシステム設定を含むすべてのデータを、「Back Up File (バックアップファイル)」(拡張子：.X9A)としてUSBフラッシュメモリーに保存します。
	Load	バックアップファイルとしてUSBフラッシュメモリーに保存したデータを本体にロードします。
Live Set All File	Save	本体に保存されたすべてのライブセットのデータを、「Live Set All File (ライブセットオールファイル)」(拡張子：.X9L)としてUSBフラッシュメモリーに保存します。
	Load	ライブセットオールファイルとしてUSBフラッシュメモリーに保存したデータを本体にロードします。
Live Set Page File	Save	本体に保存されたライブセットをページごとに、「Live Set Page File (ライブセットページファイル)」(拡張子：.X9P)としてUSBフラッシュメモリーに保存します。
	Load	ライブセットページファイルとしてUSBフラッシュメモリーに保存したデータを本体にロードします。
Live Set Sound File	Save	本体に保存されたライブセットサウンドを選択し、「Live Set Sound File (ライブセットサウンドファイル)」(拡張子：.X9S)としてUSBフラッシュメモリーに保存します。
	Load	ライブセットサウンドファイルとしてUSBフラッシュメモリーに保存したデータを本体にロードします。
File Utility	Rename	USBフラッシュメモリー内のファイル名を変更します。
	Delete	USBフラッシュメモリー内のファイルを削除します。
	Format	USBフラッシュメモリーをフォーマット(初期化)します。新しいUSBフラッシュメモリーを本体のファイル画面で使用するには、フォーマットが必要です。
		注記 フォーマットを行なうと、USBフラッシュメモリー内のすべてのデータが消去されます。あらかじめ、データの有無をご確認ください。

Version Info

本体のソフトウェアおよびファームウェアのバージョンとコピーライトを表示します。

SETTINGS LIST

[SETTINGS]ボタンから、選択中のライブセットサウンドのさまざまな設定や保存ができます。ここでの設定はすべてライブセットサウンドに保存されます。

Operation

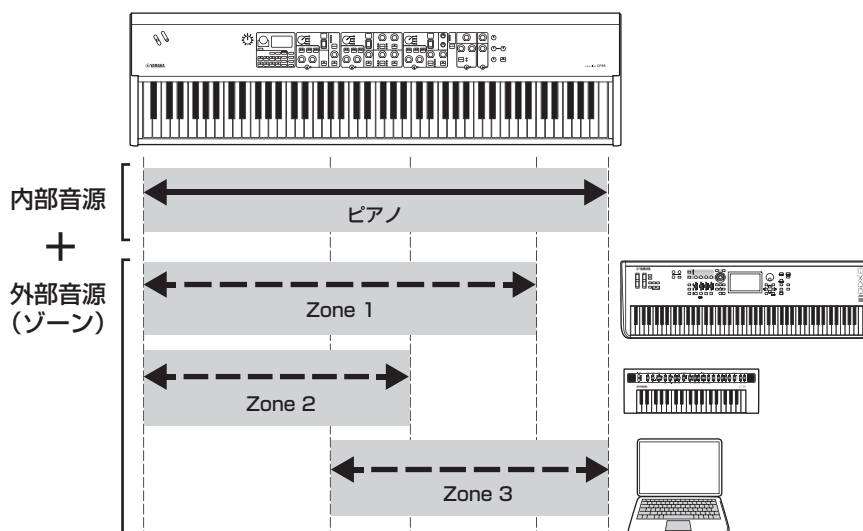
1. [SETTINGS]ボタンを押します。
2. エンコーダーダイヤルと[ENTER]ボタンで設定したい項目を表示させます。
3. エンコーダーダイヤルで値を変更し、確定します。
4. [ENTER]ボタンを押すと、トップ画面(ライブセットサウンド)に戻ります。

Function

機能名	内容
Sound Transpose	音高を半音単位で移調します。 設定値: -12 - +12 初期設定: +0 NOTE MIDI出力メッセージには反映されません。
Split Point	左手鍵域と右手鍵域とに分けて鳴らす(スプリット)ポイントの鍵盤(ノート名)を設定します。 設定値は右手鍵域の最低音(ノート名)になります。 設定値: C#-2 - G8 初期設定: G2

Master Keyboard

CP88、CP73をマスターキーボードとして使う機能です。鍵盤を最大4つの領域(ゾーン)に分けることで、領域ごとに外部の音源をコントロールできます。本体の音源と組み合わせたライブセットサウンドや、外部の音源のみで構成されたライブセットサウンドといった設定ができます。



機能名	内容	
Mode SW	Master Keyboard Modeの設定を切り替えます。「On」を選択すると有効となり、トップ画面に MEI が表示されます。 初期設定: Off	
Advanced Zone SW	Master Keyboard Modeの設定範囲を切り替えます。「On」を選択するとより詳細に設定できます。 初期設定: Off NOTE 「Off」に設定した場合、詳細設定項目(*)は表示されません。	
Zone Settings (*) 詳細設定項目	Zone Switch	選択中のゾーンを使う(On)か、使わない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Tx Channel	選択中のゾーンにおけるMIDI送信チャンネルを設定します。 設定値: 1 – 16 初期設定: 1
	Octave Shift	選択中のゾーンにおける音の高さをオクターブ単位でシフトします。 設定値: -3 – +3 初期設定: +0
	Transpose	選択中のゾーンにおける音の高さを半音単位で移調します。 設定値: -11 – +11 初期設定: +0
	Note Limit Low	ゾーンの発音する最も低域の鍵盤を設定します。 初期設定: C -2
	Note Limit High	ゾーンの発音する最も高域の鍵盤を設定します。 初期設定: G8
	Bank MSB*	ライブセットサウンドを変更したとき、選択中のゾーンで鳴らす外部音源へMIDIメッセージとして送信するバンクセレクトMSBを設定します。 初期設定: 0
	Bank LSB*	ライブセットサウンドを変更したとき、選択中のゾーンで鳴らす外部音源へMIDIメッセージとして送信するバンクセレクトLSBを設定します。 初期設定: 0
	Program Change*	ライブセットサウンドを変更したとき、選択中のゾーンで鳴らす外部音源へのMIDIメッセージとして送信するプログラムチェンジナンバーを選択します。 初期設定: 1
	Volume*	ライブセットサウンドを変更したとき、選択中のゾーンで鳴らす外部音源の音量を設定します。 初期設定: 100
	Pan*	ライブセットサウンドを変更したとき、選択中のゾーンで鳴らす外部音源の音の定位(パン)を設定します。 初期設定: C
	Tx SW Note*	選択中のゾーンで鳴らす外部音源への鍵盤のMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Tx SW Bank*	選択中のゾーンで鳴らす外部音源へバンクセレクトのMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On

機能名	内容	
Zone Settings	Tx SW Program**	選択中のゾーンで鳴らす外部音源へプログラムチェンジのMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Tx SW Volume**	選択中のゾーンで鳴らす外部音源へ音量のMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Tx SW Pan**	選択中のゾーンで鳴らす外部音源へ音の定位(パン)のMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Tx SW PB**	選択中のゾーンで鳴らす外部音源へピッチベンドレバーのMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Tx SW MOD**	選択中のゾーンで鳴らす外部音源へモジュレーションレバーのMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Tx SW Sustain**	選択中のゾーンで鳴らす外部音源へサステインのMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Tx SW FS**	選択中のゾーンで鳴らす外部音源へフットスイッチのMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Tx SW FC1**	選択中のゾーンで鳴らす外部音源へFOOT CONTROLLER [1]のMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Tx SW FC2**	選択中のゾーンで鳴らす外部音源へFOOT CONTROLLER [2]のMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。 初期設定: On

Advanced Mode

ピアノセクション、エレクトリックピアノセクション、サブセクションのカテゴリーにかかわらず、ボイスセレクトスイッチを切り替えることですべてのセクションのボイスを選択できる機能です。たとえば、ピアノセクションのボイスとエレクトリックピアノセクションのワウ(インサージョンエフェクト)を組み合わせたり、同じボイスをレイヤーしたりできます。

機能名	内容	
Advanced Mode SW	Piano	アドバンスドモードを有効にする(On)か、無効にする(Off)かボイスセクションごとに設定します。いずれかのボイスセクションを「On」に設定すると、トップ画面に ADV が表示されます。
	E.Piano	初期設定: Off
	Sub	NOTE アドバンスドモードが有効なボイスセクションでは、ボイスナンバーディスプレイにボイス番号は表示されません。LCD画面にボイス名が表示されます。

Controllers

機能名		内容	
Bend Range	Piano	ピッチベンドの範囲を半音単位で設定します。ボイスセクションごとの設定が可能です。 設定値: -24 - +0 - +24 初期設定: +2	
	E.Piano		
	Sub		
P.Mod Depth	Piano	鍵盤の音にかけるビブラートの効果の深さを設定します。ボイスセクションごとの設定が可能です。 設定値: 0 - 127 Piano/E.Piano初期設定: 0 Sub初期設定: 10 NOTE サブセクションのIns Effectで「Rotary」を選択している場合、ビブラートが効果しないため、設定値は無効となります。	
	E.Piano		
	Sub		
FC1 Assign		FOOT CONTROLLER [1]端子に接続した別売のフットコントローラーを操作したときに発生するコントロールチェンジナンバーです。 初期設定: 11 (Expression)	
FC2 Assign		FOOT CONTROLLER [2]端子に接続した別売のフットコントローラーを操作したときに発生するコントロールチェンジナンバーです。 初期設定: 4 (Pedal Wah)	
Receive SW	Expression	Piano	各ボイスセクションが外部から受信したMIDIメッセージや、フットスイッチ、およびフットコントローラーの操作によって発生するMIDIメッセージを受信する(On)か、しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
		E.Piano	
		Sub	
	Sustain	Piano	
		E.Piano	
		Sub	
	Sostenuto	Piano	
		E.Piano	
		Sub	
	Soft	Piano	
		E.Piano	
		Sub	

Name

ライブセットサウンド名を設定します。ライブセットサウンド名の編集方法は、「ファイル名/ライブセットサウンド名の編集」(20ページ)をご覧ください。

NOTE

保存するには、別途ストア作業が必要となります(10ページ)。

DATA LIST

Live Set Sound List

BANK	No	Name	Split Point	Section	Voice Name	MSB	LSB	PC
1	1	Natural CFX	G2	Piano	CFX	63	0	1
				E.Piano	-			
				Sub	-			
1	2	NaturalImperial	G2	Piano	Imperial	63	0	2
				E.Piano	-			
				Sub	-			
1	3	Jazz S700	G2	Piano	S700	63	0	3
				E.Piano	-			
				Sub	-			
1	4	Rock Upright	G2	Piano	U1	63	0	4
				E.Piano	-			
				Sub	-			
1	5	Simple 78	G2	Piano	-	63	0	5
				E.Piano	78Rd			
				Sub	-			
1	6	Funky Tines	G2	Piano	-	63	0	6
				E.Piano	75Rd Funky			
				Sub	-			
1	7	Tremolo Wr	G2	Piano	-	63	0	7
				E.Piano	Wr Warm			
				Sub	-			
1	8	Clavi B Amped	G2	Piano	-	63	0	8
				E.Piano	Clavi B			
				Sub	-			
2	1	CFX+DX Legend	G2	Piano	CFX	63	1	1
				E.Piano	DX Legend			
				Sub	-			
2	2	A.Bass/78Rd	G2	Piano	U1	63	1	2
				E.Piano	78Rd			
				Sub	A.Bass			
2	3	80s El Grand	G2	Piano	CP80 1	63	1	3
				E.Piano	-			
				Sub	-			
2	4	Brite Pop 8ve	G2	Piano	Digi Piano	63	1	4
				E.Piano	DX Legend			
				Sub	OB Strings			
2	5	E.Bass/78Rd	G2	Piano	-	63	1	5
				E.Piano	78Rd			
				Sub	E.Bass			
2	6	Driven Wr+Pad	G2	Piano	-	63	1	6
				E.Piano	Wr Warm			
				Sub	Warm Strings			
2	7	Imperial + Str	G2	Piano	Imperial	63	1	7
				E.Piano	-			
				Sub	Section Str			
2	8	Ghostly U1	G2	Piano	U1	63	1	8
				E.Piano	Wr Warm			
				Sub	-			
3	1	Rock Grand	G2	Piano	CFX	63	2	1
				E.Piano	-			
				Sub	-			
3	2	S700 + Pad	G2	Piano	S700	63	2	2
				E.Piano	-			
				Sub	OB Strings			
3	3	MonoCmp CFX	G2	Piano	CFX	63	2	3
				E.Piano	-			
				Sub	-			
3	4	Lo Fi Grand	G2	Piano	CFX	63	2	4
				E.Piano	-			
				Sub	-			
3	5	Piano Grind Pad	G2	Piano	Piano Synth	63	2	5
				E.Piano	73Rd			
				Sub	Mellow Pad			
3	6	Lush Love	G2	Piano	Imperial	63	2	6
				E.Piano	78Rd			
				Sub	Brightness			

BANK	No	Name	Split Point	Section	Voice Name	MSB	LSB	PC
3	7	Big S700	G2	Piano	S700	63	2	7
				E.Piano	73Rd			
				Sub	OB Strings			
3	8	Piano Scape	G2	Piano	Imperial	63	2	8
				E.Piano	DX Legend			
				Sub	Mellow Pad			
4	1	Compressed CFX	G2	Piano	CFX	63	3	1
				E.Piano	-			
				Sub	-			
4	2	Kinda Squashed	G2	Piano	Imperial	63	3	2
				E.Piano	-			
				Sub	-			
4	3	Layered CFX	G2	Piano	CFX	63	3	3
				E.Piano	75Rd Funky			
				Sub	Mellow Pad			
4	4	Chorus CFX	G2	Piano	CFX	63	3	4
				E.Piano	-			
				Sub	-			
4	5	Upright	G2	Piano	U1	63	3	5
				E.Piano	-			
				Sub	-			
4	6	A Tacky Piano	G2	Piano	SU7	63	3	6
				E.Piano	75Rd Funky			
				Sub	Brightness			
4	7	HonkyTonk Piano	G2	Piano	U1	63	3	7
				E.Piano	-			
				Sub	-			
4	8	Old Record	G2	Piano	U1	63	3	8
				E.Piano	-			
				Sub	-			
5	1	Case 73	G2	Piano	-	63	4	1
				E.Piano	73Rd			
				Sub	-			
5	2	Chimin' Tines	G2	Piano	Digi Piano	63	4	2
				E.Piano	78Rd			
				Sub	Glocken			
5	3	Slow Phase	G2	Piano	-	63	4	3
				E.Piano	73Rd			
				Sub	-			
5	4	73 Tines OD	G2	Piano	-	63	4	4
				E.Piano	73Rd			
				Sub	-			
5	5	Fast Phaser	G2	Piano	-	63	4	5
				E.Piano	75Rd Funky			
				Sub	-			
5	6	Ampy Funk	G2	Piano	-	63	4	6
				E.Piano	75Rd Funky			
				Sub	-			
5	7	Wet Phase	G2	Piano	-	63	4	7
				E.Piano	78Rd			
				Sub	-			
5	8	78 & Pad	G2	Piano	-	63	4	8
				E.Piano	78Rd			
				Sub	Mellow Pad			
6	1	Wr Bright	G2	Piano	-	63	5	1
				E.Piano	Wr Bright			
				Sub	-			
6	2	Wr Comp	G2	Piano	-	63	5	2
				E.Piano	Wr Warm			
				Sub	-			
6	3	Clavi B	G2	Piano	-	63	5	3
				E.Piano	Clavi B			
				Sub	-			
6	4	Driven S	G2	Piano	-	63	5	4
				E.Piano	Clavi S			
				Sub	-			

DATA LIST

BANK	No	Name	Split Point	Section	Voice Name	MSB	LSB	PC
6	5	Clavi Wah Dist	G2	Piano	-	63	5	5
				E.Piano	Clavi B			
				Sub	-			
6	6	Squeeze B	G2	Piano	-	63	5	6
				E.Piano	Clavi B			
				Sub	-			
6	7	Long Chorus S	G2	Piano	-	63	5	7
				E.Piano	Clavi S			
				Sub	-			
6	8	Rock Wr w/Ba	G2	Piano	Digi Piano	63	5	8
				E.Piano	Wr Bright			
				Sub	E.Bass			
7	1	CP80 Comp	G2	Piano	CP80 1	63	6	1
				E.Piano	-			
				Sub	-			
7	2	Natural CP80	G2	Piano	CP80 2	63	6	2
				E.Piano	-			
				Sub	-			
7	3	Chorus Legend	G2	Piano	-	63	6	3
				E.Piano	DX Legend			
				Sub	-			
7	4	Chorus FTine	G2	Piano	-	63	6	4
				E.Piano	DX FTine			
				Sub	Mellow Pad			
7	5	Chorus 7II	G2	Piano	-	63	6	5
				E.Piano	DX 7 II			
				Sub	-			
7	6	Legend + Pad	G2	Piano	-	63	6	6
				E.Piano	DX Legend			
				Sub	OB Strings			
7	7	SynBass/DXEP	G2	Piano	-	63	6	7
				E.Piano	DX Mellow			
				Sub	Syn Bass			
7	8	Digi DX Pads	G2	Piano	Digi Piano	63	6	8
				E.Piano	DX Legend			
				Sub	Mellow Pad			
8	1	Bright Bars	G2	Piano	-	63	7	1
				E.Piano	-			
				Sub	Bright Bars			
8	2	All Bars Out	G2	Piano	-	63	7	2
				E.Piano	-			
				Sub	All Bars Out			
8	3	PipeOrgan1	G2	Piano	-	63	7	3
				E.Piano	-			
				Sub	Pipe Organ 1			
8	4	PipeOrgan2	G2	Piano	-	63	7	4
				E.Piano	-			
				Sub	Pipe Organ 2			
8	5	The Red Combo	G2	Piano	-	63	7	5
				E.Piano	-			
				Sub	60s Combo			
8	6	Italian Combo	G2	Piano	-	63	7	6
				E.Piano	-			
				Sub	Compact			
8	7	Aggro Syn Pad	G2	Piano	-	63	7	7
				E.Piano	78Rd			
				Sub	Panther			
8	8	RdBa/60sCombo	G2	Piano	-	63	7	8
				E.Piano	78Rd			
				Sub	60s Combo			
9	1	Strings1	G2	Piano	-	63	8	1
				E.Piano	-			
				Sub	Natural Str			
9	2	Strings2	G2	Piano	-	63	8	2
				E.Piano	-			
				Sub	Section Str			
9	3	Synth Pad1	G2	Piano	-	63	8	3
				E.Piano	-			
				Sub	Mellow Pad			
9	4	Synth Pad2	G2	Piano	-	63	8	4
				E.Piano	-			
				Sub	Warm Strings			
9	5	Vibraphone	G2	Piano	-	63	8	5
				E.Piano	-			
				Sub	Vibraphone			
9	6	Nice Bell	G2	Piano	-	63	8	6
				E.Piano	-			
				Sub	Nice Bell			

BANK	No	Name	Split Point	Section	Voice Name	MSB	LSB	PC
9	7	Syn Brass	G2	Piano	-	63	8	7
				E.Piano	-			
				Sub	Syn Brass			
9	8	Syn Lead1	G2	Piano	-	63	8	8
				E.Piano	78Rd			
				Sub	Syn Lead 1			
10	1	Harpsichord	G2	Piano	-	63	9	1
				E.Piano	Harpsichord			
				Sub	-			
10	2	Electric Harpsi	G2	Piano	-	63	9	2
				E.Piano	Harpsichord			
				Sub	-			
10	3	Pipes Rd PBMW	G2	Piano	Digi Piano	63	9	3
				E.Piano	78Rd			
				Sub	Pipe Organ 2			
10	4	Funky w/RdBass	G2	Piano	CP80 1	63	9	4
				E.Piano	78Rd			
				Sub	Marimba			
10	5	Rough Lead	G2	Piano	CP80 2	63	9	5
				E.Piano	78Rd			
				Sub	Back Pad			
10	6	Clavi Syn Wah	G2	Piano	-	63	9	6
				E.Piano	Clavi B			
				Sub	Syn Lead 1			
10	7	Chimin' Crs	G2	Piano	Digi Piano	63	9	7
				E.Piano	75Rd Funky			
				Sub	Glocken			
10	8	Brite Pop	G2	Piano	Digi Piano	63	9	8
				E.Piano	DX Legend			
				Sub	OB Strings			

Voice List

Section	Category	No.	Voice	CC Value	
PIANO	Grand Piano	01	CFX	1	
		02	Imperial	2	
		03	S700	3	
		04	Digi Piano	4	
	Upright Piano	01	U1	5	
		02	SU7	6	
	CP	01	CP80 1	7	
		02	CP80 2	8	
	Special Piano	01	Piano Strings	9	
		02	Piano Synth	10	
E.PIANO	Rd	01	78Rd	11	
		02	75Rd Funky	12	
		03	73Rd	13	
	Wr	01	Wr Warm	14	
		02	Wr Bright	15	
	Clv	01	Clavi B	16	
		02	Clavi S	17	
		03	Harpsichord	18	
	DX	01	DX Legend	19	
		02	DX Woody	20	
		03	DX FTine	21	
		04	DX 7 II	22	
		05	DX Mellow	23	
		06	DX Crisp	24	
	SUB	Pad/Strings	01	Mellow Pad	25
			02	Spectrum	26
03			Back Pad	27	
04			Air Choir	28	
05			Natural Str	29	
06			Warm Strings	30	
07			OB Strings	31	
08			Section Str	32	
Organ		01	Bright Bars	33	
		02	Click Organ	34	
		03	Draw Organ 1	35	
		04	All Bars Out	36	
		05	Draw Organ 2	37	
		06	60s Combo	38	
		07	Compact	39	
		08	Panther	40	
		09	Pipe Organ 1	41	
		10	Pipe Organ 2	42	
Chromatic Perc.		01	Glocken	43	
		02	Vibraphone	44	
		03	Xylophone	45	
		04	Marimba	46	
		05	Brightness	47	
		06	Nice Bell	48	
Others		07	Stack Bell	49	
		01	Syn Lead 1	50	
		02	Syn Lead 2	51	
		03	Syn Bass	52	
		04	E.Bass	53	
		05	A.Bass	54	
		06	Steel Gt	55	
		07	Clean Gt	56	
08	Syn Brass	57			

Control Change Number List

P:=Piano, E:=Electric Piano, S:=Sub
 括弧付きで表示されるパラメーターは、本体の音源には効果しません。
 *：フットスイッチのみ有効です。フットコントローラーには反応しません。
 *コントローラー値/パラメーター値対応表 (39ページ)

	CC No. (ディスプレイ表示)	コントローラー	対応表*	
Piano	12 P: Select	18 ボイスカテゴリーセクター	M	
		19 ボイスセレクトスイッチ	M	
	13 P: Volume	23 [VOLUME]ノブ	A	
	14 P: Tone	24 [TONE]ノブ	A	
	15 P: Damper Reso	25 DAMPER RESONANCE [ON/OFF]ボタン	B	
	16 P: Effect SW	26 インサージョンエフェクト[ON/OFF]ボタン	B	
	17 P: Effect Depth	28 [DEPTH]ノブ	A	
	77 P: Delay Depth	44 [DEPTH]ノブ	A	
	81 P: Reverb Depth	48 [DEPTH]ノブ	A	
	102 P: SW	17 ボイスセクション[ON/OFF]スイッチ	B	
	103 P: Split	21 SPLIT [L R]ボタン	E	
	104 P: Octave	22 OCTAVE [-2 -1]/[+1 +2]ボタン	F	
	105 P: Effect Type	27 インサージョンエフェクト 切り替えボタン	G	
	E.Piano	18 E: Select	18 ボイスカテゴリーセクター	N
			19 ボイスセレクトスイッチ	N
19 E: Volume		23 [VOLUME]ノブ	A	
20 E: Tone		24 [TONE]ノブ	A	
21 E: Drive SW		26 インサージョンエフェクト[ON/OFF]ボタン	B	
22 E: Drive Depth		29 [DRIVE]ノブ	A	
23 E: Effect 1 SW		26 インサージョンエフェクト[ON/OFF]ボタン	B	
24 E: Effect 1 Depth		31 [DEPTH]ノブ	A	
25 E: Effect 1 Rate		32 [RATE]ノブ	A	
26 E: Effect 2 SW		26 インサージョンエフェクト[ON/OFF]ボタン	B	
27 E: Effect 2 Depth		34 [DEPTH]ノブ	A	
28 E: Effect 2 Speed		35 [SPEED]ノブ	A	
78 E: Delay Depth		44 [DEPTH]ノブ	A	
82 E: Reverb Depth		48 [DEPTH]ノブ	A	
106 E: SW		17 ボイスセクション[ON/OFF]スイッチ	B	
107 E: Split		21 SPLIT [L R]ボタン	E	
108 E: Octave		22 OCTAVE [-2 -1]/[+1 +2]ボタン	F	
109 E: Effect 1 Type		27 インサージョンエフェクト 切り替えボタン	H	
110 E: Effect 2 Type		27 インサージョンエフェクト 切り替えボタン	I	
Sub		29 S: Select	18 ボイスカテゴリーセクター	O
	19 ボイスセレクトスイッチ		O	
	30 S: Volume	23 [VOLUME]ノブ	A	
	31 S: Tone	24 [TONE]ノブ	A	
	68 S: Effect SW	26 インサージョンエフェクト[ON/OFF]ボタン	B	
	72 S: Release	37 [RELEASE]ノブ	A	
	73 S: Attack	38 [ATTACK]ノブ	A	
	75 S: Effect Depth	39 [DEPTH]ノブ	A	
	76 S: Effect Speed	40 [SPEED]ノブ	A	
	79 S: Delay Depth	44 [DEPTH]ノブ	A	
	83 S: Reverb Depth	48 [DEPTH]ノブ	A	
	111 S: SW	17 ボイスセクション[ON/OFF]スイッチ	B	
	112 S: Split	21 SPLIT [L R]ボタン	E	
	113 S: Octave	22 OCTAVE [-2 -1]/[+1 +2]ボタン	F	
114 S: Effect Type	27 インサージョンエフェクト切り替えボタン	J		
DELAY REVERB	80 Delay Time	46 [TIME]ノブ	A	
	85 Reverb Time	49 [TIME]ノブ	A	
	91 All Reverb Depth	48 [DEPTH]ノブ	A	
	92 Delay Feedback	45 [FEEDBACK]ノブ	A	
	93 All Delay Depth	44 [DEPTH]ノブ	A	
	115 Delay SW	42 DELAY [ON/OFF]スイッチ	B	
	116 Delay Effect Type	43 [Analog/Digital]切り替えボタン	K	
	117 Reverb SW	47 REVERB [ON/OFF]スイッチ	B	
	118 Depth Knob Select	41 エフェクトレベル表示切り替えボタン	L	
	MASTER EQUALIZER	86 Master EQ SW	50 MASTER EQUALIZER [ON/OFF]ボタン	B
87 Master EQ High		51 [HIGH]ノブ	C	
88 Master EQ Mid		52 [MID]ノブ	C	
89 Master EQ Freq		53 [FREQUENCY]ノブ	D	
90 Master EQ Low		54 [LOW]ノブ	C	

	CC No. (ディスプレイ表示)	コントローラー	対応表*
PEDAL	1 Modulation		
	4 Pedal Wah		
	5 (Portamento Time)		
	6 (Data Entry MSB)		
	7 All Volume		
	10 (Pan)		
	11 Expression		
	12 P: Select	18 ボイスカテゴリーセクター	M
		19 ボイスセレクトスイッチ	M
	13 P: Volume	23 [VOLUME]ノブ	A
	14 P: Tone	24 [TONE]ノブ	A
	15 P: Damper Reso	25 DAMPER RESONANCE [ON/OFF]ボタン	B
	16 P: Effect SW	26 インサージョンエフェクト[ON/OFF]ボタン	B
	17 P: Effect Depth	28 [DEPTH]ノブ	A
	18 E: Select	18 ボイスカテゴリーセクター	N
		19 ボイスセレクトスイッチ	N
	19 E: Volume	23 [VOLUME]ノブ	A
	20 E: Tone	24 [TONE]ノブ	A
	21 E: Drive SW	26 インサージョンエフェクト[ON/OFF]ボタン	B
	22 E: Drive Depth	29 [DRIVE]ノブ	A
	23 E: Effect 1 SW	26 インサージョンエフェクト[ON/OFF]ボタン	B
	24 E: Effect 1 Depth	31 [DEPTH]ノブ	A
	25 E: Effect 1 Rate	32 [RATE]ノブ	A
	26 E: Effect 2 SW	26 インサージョンエフェクト[ON/OFF]ボタン	B
	27 E: Effect 2 Depth	34 [DEPTH]ノブ	A
	28 E: Effect 2 Speed	35 [SPEED]ノブ	A
	29 S: Select	18 ボイスカテゴリーセクター	O
		19 ボイスセレクトスイッチ	O
	30 S: Volume	23 [VOLUME]ノブ	A
	31 S: Tone	24 [TONE]ノブ	A
	32 (Bank LSB)		
	38 (Data Entry LSB)		
	64 Sustain	*	
	65 (Portamento)		
	66 Sostenuto	*	
	67 Soft		
	68 S: Effect SW	26 インサージョンエフェクト[ON/OFF]ボタン	B
	71 (Resonance)		
	72 S: Release	37 [RELEASE]ノブ	A
	73 S: Attack	38 [ATTACK]ノブ	A
	74 (Cutoff)		
	75 S: Effect Depth	39 [DEPTH]ノブ	A
	76 S: Effect Speed	40 [SPEED]ノブ	A
	77 P: Delay Depth	44 [DEPTH]ノブ	A
	78 E: Delay Depth	44 [DEPTH]ノブ	A
	79 S: Delay Depth	44 [DEPTH]ノブ	A
	80 Delay Time	46 [TIME]ノブ	A
	81 P: Reverb Depth	48 [DEPTH]ノブ	A
	82 E: Reverb Depth	48 [DEPTH]ノブ	A
	83 S: Reverb Depth	48 [DEPTH]ノブ	A
84 (Portamento Ctrl)			
85 Reverb Time	49 [TIME]ノブ	A	
86 Master EQ SW	50 MASTER EQUALIZER [ON/OFF]ボタン	B	
87 Master EQ High	51 [HIGH]ノブ	C	
88 Master EQ Mid	52 [MID]ノブ	C	
89 Master EQ Freq	53 [FREQUENCY]ノブ	D	
90 Master EQ Low	54 [LOW]ノブ	C	
91 All Reverb Depth	48 [DEPTH]ノブ	A	
92 Delay Feedback	45 [FEEDBACK]ノブ	A	
93 All Delay Depth	44 [DEPTH]ノブ	A	
94 (Effect 4 Depth)			
95 (Effect 5 Depth)			
96 (Data Increment)			
97 (Data Decrement)			

	CC No. (ディスプレイ表示)	コントローラー	対応表*
PEDAL	98 (NRPN LSB)		
	99 (NRPN MSB)		
	100 (RPN LSB)		
	101 (RPN MSB)		
	102 P: SW	17 ボイスセクション[ON/OFF]スイッチ	B
	103 P: Split	21 SPLIT [L R]ボタン	E
	104 P: Octave	22 OCTAVE [-2 -1]/[+1 +2]ボタン	F
	105 P: Effect Type	27 インサージョンエフェクト切り替えボタン	G
	106 E: SW	17 ボイスセクション[ON/OFF]スイッチ	B
	107 E: Split	21 SPLIT [L R]ボタン	E
	108 E: Octave	22 OCTAVE [-2 -1]/[+1 +2]ボタン	F
	109 E: Effect 1 Type	28 インサージョンエフェクト切り替えボタン	H
	110 E: Effect 2 Type	29 インサージョンエフェクト切り替えボタン	I
	111 S: SW	17 ボイスセクション[ON/OFF]スイッチ	B
	112 S: Split	21 SPLIT [L R]ボタン	E
	113 S: Octave	22 OCTAVE [-2 -1]/[+1 +2]ボタン	F
	114 S: Effect Type	28 インサージョンエフェクト切り替えボタン	J
	115 Delay SW	24 DELAY [ON/OFF]スイッチ	B
	116 Delay Effect Type	25 [Analog/Digital]切り替えボタン	K
	117 Reverb SW	27 REVERB [ON/OFF]スイッチ	B
118 Depth Knob Select	28 エフェクトレベル表示切り替えボタン	L	
--- Live Set Sound +	*		
--- Live Set Sound -	*		

コントローラー値/パラメーター値対応表

A

Parameter	Controller	
	Transmitted	Recognized
0-127	0-127	0-127

B

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
Off	0	0	0-63
On	1	127	64-127

C

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
-12dB	52	0-5	0-5
-11dB	53	6-10	6-10
-10dB	54	11-15	11-15
-9dB	55	16-20	16-20
-8dB	56	21-25	21-25
-7dB	57	26-30	26-30
-6dB	58	31-35	31-35
-5dB	59	36-40	36-40
-4dB	60	41-46	41-46
-3dB	61	47-51	47-51
-2dB	62	52-56	52-56
-1dB	63	57-61	57-61
0dB	64	62-66	62-66
1dB	65	67-71	67-71
2dB	66	72-76	72-76
3dB	67	77-81	77-81
4dB	68	82-87	82-87
5dB	69	88-92	88-92
6dB	70	93-97	93-97
7dB	71	98-102	98-102
8dB	72	103-107	103-107
9dB	73	108-112	108-112
10dB	74	113-117	113-117
11dB	75	118-122	118-122
12dB	76	123-127	123-127

D

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
100Hz	14	0-3	0-3
110Hz	15	4-6	4-6
125Hz	16	7-9	7-9
140Hz	17	10-12	10-12
160Hz	18	13-15	13-15
180Hz	19	16-18	16-18
200Hz	20	19-21	19-21
225Hz	21	22-24	22-24
250Hz	22	25-28	25-28
280Hz	23	29-31	29-31
315Hz	24	32-34	32-34
355Hz	25	35-37	35-37
400Hz	26	38-40	38-40
450Hz	27	41-43	41-43
500Hz	28	44-46	44-46
560Hz	29	47-49	47-49
630Hz	30	50-53	50-53
700Hz	31	54-56	54-56
800Hz	32	57-59	57-59
900Hz	33	60-62	60-62
1.0kHz	34	63-65	63-65
1.1kHz	35	66-68	66-68
1.2kHz	36	69-71	69-71
1.4kHz	37	72-74	72-74
1.6kHz	38	75-78	75-78
1.8kHz	39	79-81	79-81
2.0kHz	40	82-84	82-84
2.2kHz	41	85-87	85-87
2.5kHz	42	88-90	88-90
2.8kHz	43	91-93	91-93
3.2kHz	44	94-96	94-96
3.6kHz	45	97-99	97-99
4.0kHz	46	100-102	100-102
4.5kHz	47	103-106	103-106
5.0kHz	48	107-109	107-109
5.6kHz	49	110-112	110-112
6.3kHz	50	113-115	113-115
7.0kHz	51	116-118	116-118
8.0kHz	52	119-121	119-121
9.0kHz	53	122-124	122-124
10kHz	54	125-127	125-127

E

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
L&R	0	0	0-42
L	1	63	43-85
R	2	127	86-127

F

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
-2	62	0	0-25
-1	63	31	26-51
0	64	63	52-76
+1	65	95	77-102
+2	66	127	103-127

G

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
Comp	0	0	0-31
Dist/OD	1	42	32-63
Drive	2	84	64-95
Chorus	3	127	96-127

H

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
A.Pan	0	0	0-21
Trem	1	25	22-42
R.Mod	2	50	43-63
T.Wah	3	76	64-85
P.Wah	4	101	86-106
Comp	5	127	107-127

I

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
Cho1	0	0	0-21
Cho2	1	25	22-42
Fla	2	50	43-63
Pha1	3	76	64-85
Pha2	4	101	86-106
Pha3	5	127	107-127

J

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
Cho/Fla	0	0	0-31
Rotary	1	42	32-63
Trem	2	84	64-95
Dist/OD	3	127	96-127

K

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
Analog	0	0	0-63
Digital	1	127	64-127

L

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
All	0	0	0-31
Piano	1	42	32-63
E.Piano	2	84	64-95
Sub	3	127	96-127

M

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
Grand Piano	1	0	1
	2	1	2
	3	2	3
	4	3	4
Upright Piano	1	4	5
	2	5	6
CP	1	6	7
	2	7	8
Special Piano	1	8	9
	2	9	10

N

Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
Rd	1	10	11
	2	11	12
	3	12	13
Wr	1	13	14
	2	14	15
Clv	1	15	16
	2	16	17
	3	17	18
DX	1	18	19
	2	19	20
	3	20	21
	4	21	22
	5	22	23
	6	23	24

O

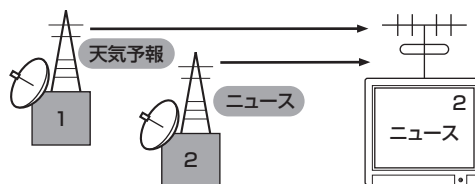
Parameter		Controller	
		Transmitted	Recognized
Pad/Strings	1	24	25
	2	25	26
	3	26	27
	4	27	28
	5	28	29
	6	29	30
	7	30	31
	8	31	32
Organ	1	32	33
	2	33	34
	3	34	35
	4	35	36
	5	36	37
	6	37	38
	7	38	39
	8	39	40
	9	40	41
	10	41	42
Chromatic Perc	1	42	43
	2	43	44
	3	44	45
	4	45	46
	5	46	47
	6	47	48
	7	48	49
	8	49	50
Others	1	50	51
	2	51	52
	3	52	53
	4	53	54
	5	54	55
	6	55	56
	7	56	57
	8	57	58

MIDI

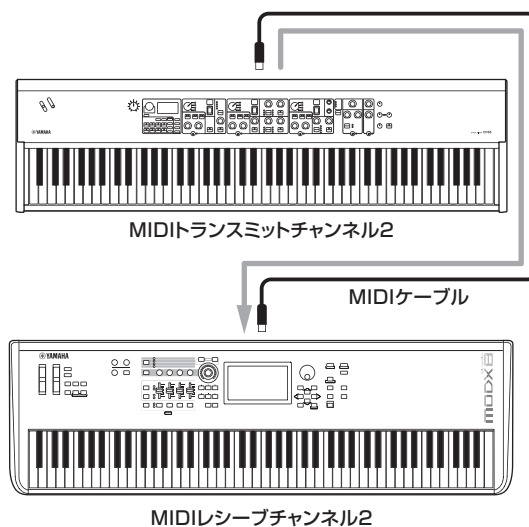
MIDI (ミディ)は、Musical Instrument Digital Interfaceの頭文字をとったもので、楽器同士を接続して演奏情報や音色情報などをやりとりするために作られた世界統一の規格です。世界統一規格ですから、メーカーや楽器の種類が違っててもデータをやりとりできます。MIDIでは、「鍵盤を弾く」、「ライブセットサウンドを選ぶ」といった演奏に関する情報以外に、テンポをコントロールするための情報など、さまざまな情報をやりとりできます。これらの情報をフルに活用すると、鍵盤やコントローラーを使って演奏するだけでなく、セクションごとのボリュームやトーンの値を変えたり、エフェクトの設定を変更するなど、本体パネルで設定するパラメーターのほとんどを、外部MIDI機器からMIDIを通してコントロールできます。

MIDIチャンネル

MIDIの情報には、MIDIチャンネルという1～16の番号が割り当てられています。このMIDIチャンネルを使って、1本のMIDIケーブルで同時に16チャンネル分の情報を送る仕組みになっています。MIDIチャンネルは、テレビのチャンネルと同じようなものだと考えることができます。テレビの放送局は、あらかじめ割り当てられたチャンネルで情報を送信します。各家庭では複数の放送局から送られてきた情報を同時に受信した上で、特定のチャンネルを選択することで目的の放送局の情報(番組)を見ることができるわけです。MIDIチャンネルもこれと同じ仕組みです。

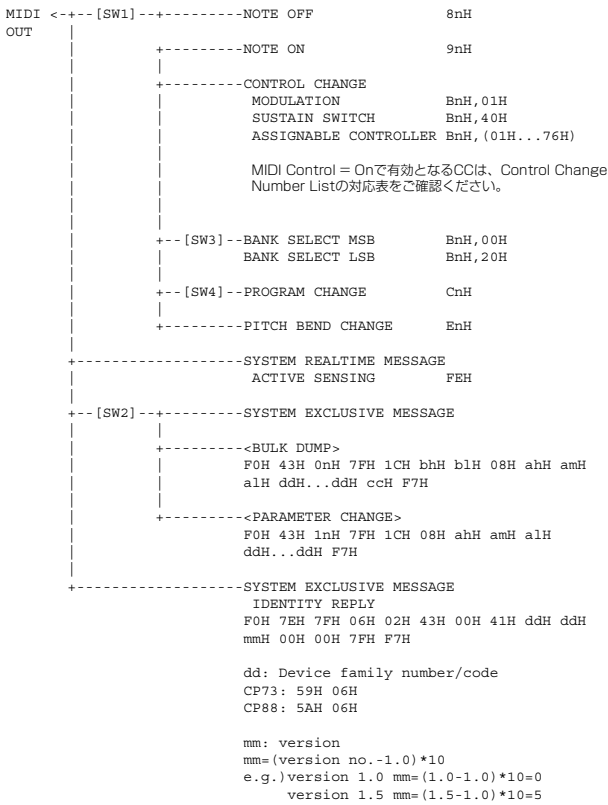


MIDIデータは、送信側の楽器で設定されたMIDI送信チャンネル(MIDIトランスミットチャンネル)によってMIDIケーブルを通り受信側の楽器に送られます。このとき、受信側の楽器で設定されるMIDIチャンネル(MIDIレシーブチャンネル)が、送信側のMIDIチャンネルと一致してはじめて音が鳴ります。



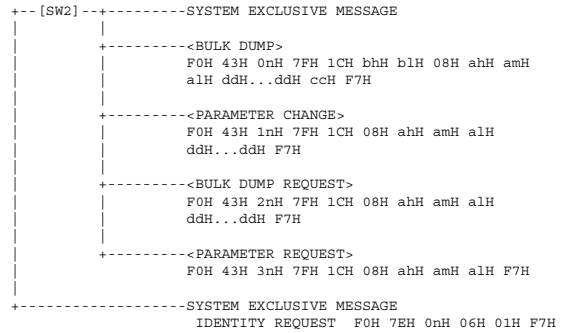
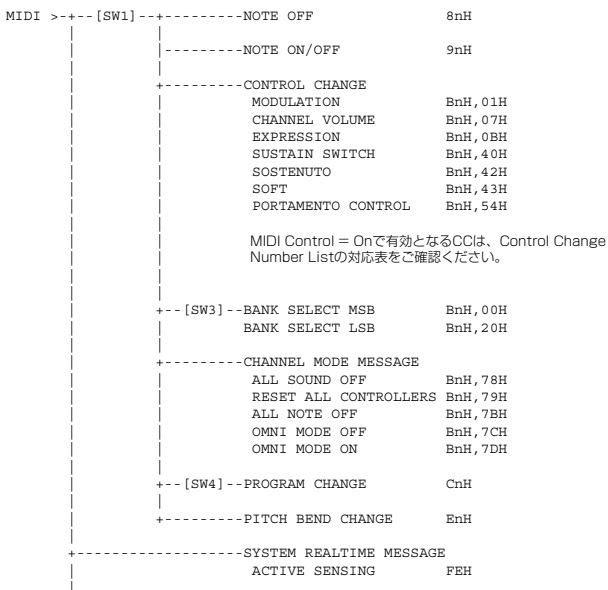
MIDI Data Format

(1) TRANSMIT FLOW



- [SW1] MIDI Transmit Channel
Part Zone Switch = on のときは、Zone Transmit Channel に従います。
それ以外の場合は、MIDI Transmit Channel に従います。
- [SW2] SYSTEM MIDI Device Number
allのときは、1で送信されます。
- [SW3] SYSTEM Bank Select Switch
- [SW4] SYSTEM Program Change Switch

(2) RECEIVE FLOW



- [SW1] MIDI Receive Channel に従う。
- [SW2] SYSTEM MIDI Device Number
- [SW3] SYSTEM Bank Select Switch
- [SW4] SYSTEM Program Change Switch

(3) TRANSMIT/RECEIVE DATA

(3-1) CHANNEL VOICE MESSAGES

(3-1-1) NOTE OFF

STATUS	1000nnnn (9nH)	n=0-15 CHANNEL NUMBER
NOTE No.	0kkkkkkk	k=0(C-2)-127(G8)
VELOCITY	0vvvvvvv	送信時 v=64

(3-1-2) NOTE ON/OFF

STATUS	1000nnnn (8nH)	n=0-15 CHANNEL NUMBER
NOTE No.	0kkkkkkk	k=0(C-2)-127(G8)
VELOCITY NOTE ON	0vvvvvvv (v≠0)	
NOTE OFF	0vvvvvvv (v=0)	

(3-1-3) CONTROL CHANGE

STATUS	1011nnnn (BnH)	n=0-15 CHANNEL NUMBER
CONTROL NUMBER	0ccccccc	
CONTROL VALUE	0vvvvvvv	

*送信するCONTROL NUMBER

c=0	BANK SELECT MSB	;v=0-127	*1
c=32	BANK SELECT LSB	;v=0-127	*1
c=1	MODULATION	;v=0-127	
c=64	SUSTAIN SWITCH	;v=0-127	*3
c=1...118	ASSIGNABLE CONTROLLER	;v=0-127	*2

*受信するCONTROL NUMBER

c=0	BANK SELECT MSB	;v=0-127	*1
c=32	BANK SELECT LSB	;v=0-127	*1
c=1	MODULATION	;v=0-127	
c=7	CHANNEL VOLUME	;v=0-127	
c=11	EXPRESSION	;v=0-127	
c=64	SUSTAIN SWITCH	;v=0-127	
c=66	SOSTENUTO	;v=0-63:OFF, 64-127:ON	
c=67	SOFT	;v=0-127	
c=84	PORTAMENTO CONTROL	;v=0-127	

*1 BANK SELECTとPROGRAMの関係

	CATEGORY	MSB	LSB	PROGRAM No.
Live Set Page 1		63	0	0..7
:	:	:	:	:
Live Set Page 20		63	19	0..7

*2 ASSIGNABLE CONTROLLERのDEFAULT CONTROL NUMBERは、以下の通りです。

FOOT CONTROLLER 1	11
FOOT CONTROLLER 2	4
FOOT SWITCH Live Set Inc	

*3 サステインペダルの設定が「FC3 (half on)」以外の場合、サステインペダルの操作によって送信されるメッセージの値は0 (オフ)と127 (オン)のみとなります。

Bank Selectの動作は、すべてProgram Changeを受信したときに発生します。
Bank Select、Program Changeは、サポートしている番号以外のものは無視されます。

(3-1-4) PROGRAM CHANGE

STATUS	1100nnnn (CnH)	n=0-15 CHANNEL NUMBER
PROGRAM NUMBER	00000ppp	p=0-7

(3-1-5) PITCH BEND CHANGE

STATUS	1110nnnn (EnH)	n=0-15 CHANNEL NUMBER
LSB	0vvvvvvv	PITCH BEND CHANGE LSB
MSB	0vvvvvvv	PITCH BEND CHANGE MSB

送信の分解能は7 bitです。

(3-2) CHANNEL MODE MESSAGES

```
STATUS      1011nnnn (BnH)   n=0-15 CHANNEL NUMBER
CONTROL NUMBER 0ccccccc   c=CONTROL NUMBER
CONTROL VALUE 0vvvvvvvv   v=DATA VALUE
```

(3-2-1) ALL SOUND OFF (CONTROL NUMBER = 78H, DATA VALUE = 0)

該当チャンネルの発音中の音をすべて消音します。ノート・オンやホールド・オンなどのチャンネルメッセージの状態も消去します。

(3-2-2) RESET ALL CONTROLLERS (CONTROL NUMBER = 79H, DATA VALUE = 0)

以下のコントローラーの設定値をリセットします。

```
PITCH BEND CHANGE 0 (中央)
MODULATION        0 (最小)
EXPRESSION        127 (最大)
PEDAL WAH         0 (最小)
SUSTAIN SWITCH    0 (オフ)
SOSTENUTO SWITCH  0 (オフ)
SOFT              0 (オフ)
PORTAMENTO CONTROL 予約したノート番号のリセット
```

以下のデータは変更されません。

```
PROGRAM CHANGE, BANK SELECT MSB/LSB, VOLUME
```

(3-2-3) ALL NOTE OFF (CONTROL NUMBER = 7BH, DATA VALUE = 0)

該当チャンネルのオンしているノートをすべてオフします。ただし、サステイン、あるいはソステヌートがオンの場合は、それらがオフになるまで発音は終了しません。

(3-2-4) OMNI MODE OFF (CONTROL NUMBER = 7CH, DATA VALUE = 0)

ALL NOTE OFF を受信したときと同じ処理を行いません。

(3-2-5) OMNI MODE ON (CONTROL NUMBER = 7DH, DATA VALUE = 0)

ALL NOTE OFF を受信したときと同じ処理を行いません。

(3-4) SYSTEM REAL TIME MESSAGES

(3-4-1) ACTIVE SENSING

```
STATUS      11111110 (FEH)
```

約200 msecごとに送信します。
このCODEを一度受信すると、SENSINGを開始します。約350 msec以上の間、STATUSもDATAも来ないときは、MIDI受信BUFFERをCLEARし、発音している音を強制的にOFFにします。

(3-5) SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE

(3-5-1) UNIVERSAL NON REALTIME MESSAGE

(3-5-1-1) IDENTITY REQUEST (受信のみ)

```
F0H 7EH 0nH 06H 01H F7H (nlはDevice No.、本機はomniで受信します。)
```

(3-5-1-2) IDENTITY REPLY (送信のみ)

```
F0H 7EH 7FH 06H 02H 43H 00H 41H ddH ddH mmH 00H 00H 7FH F7H
```

```
dd: Device family number/code
CP73: 59H 06H
CP88: 5AH 06H
```

```
mm: version
mm=(version no.-1.0)*10
e.g.) version 1.0 mm=(1.0-1.0)*10=0
      version 1.5 mm=(1.5-1.0)*10=5
```

(3-5-2) UNIVERSAL REALTIME MESSAGE

(3-5-3) PARAMETER CHANGE

(3-5-3-1) NATIVE PARAMETER CHANGE, MODE CHANGE

```
11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0001nnnn 1n Device Number
01111111 7F Group ID High
00011100 1C Group ID Low
00000010 08 Model ID
0aaaaaaaa aaaaaaa Address High
0aaaaaaaa aaaaaaa Address Mid
0aaaaaaaa aaaaaaa Address Low
0ddddddd ddddddd Data
|
11110111 F7 End of Exclusive
```

Data Sizeが2以上のパラメータはそのSize分データを送信します。
Addressは、MIDI Data Tableをご参照ください。

(3-5-4) BULK DUMP

```
11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0000nnnn 0n Device Number
01111111 7F Group ID High
00011100 1C Group ID Low
0bbbbbbb bbbbbbb Byte Count
0bbbbbbb bbbbbbb Byte Count
00000010 08 Model ID
0aaaaaaaa aaaaaaa Address High
0aaaaaaaa aaaaaaa Address Mid
0aaaaaaaa aaaaaaa Address Low
0
|
0ccccccc ccccccc Check-sum
11110111 F7 End of Exclusive
```

AddressおよびByte Countは、MIDI Data Tableをご参照ください。
Check sumは、Byte Count、Start Address、Data、Check-sum自身を加算した値の下位7bitがゼロになる値です。

(3-5-5) DUMP REQUEST

```
11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0010nnnn 2n Device Number
01111111 7F Group ID High
00011100 1C Group ID Low
00000010 08 Model ID
0aaaaaaaa aaaaaaa Address High
0aaaaaaaa aaaaaaa Address Mid
0aaaaaaaa aaaaaaa Address Low
11110111 F7 End of Exclusive
```

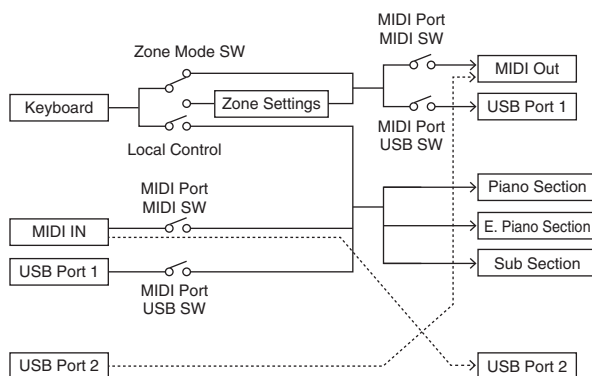
Addressは、MIDI Data Tableをご参照ください。

(3-5-6) PARAMETER REQUEST

```
11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0011nnnn 3n Device Number
01111111 7F Group ID High
00011100 1C Group ID Low
00000010 08 Model ID
0aaaaaaaa aaaaaaa Address High
0aaaaaaaa aaaaaaa Address Mid
0aaaaaaaa aaaaaaa Address Low
11110111 F7 End of Exclusive
```

Addressは、MIDI Data Tableをご参照ください。

(4) Keyboardと音源部との構成図



USB Port 2 is enabled when 'MIDI Port MIDI SW = OFF' and 'MIDI Port USB SW = ON'

ALL SOUND OFFは、MIDI、本体の区別なく、該当チャンネルすべての発音を消去します。
MIDIで受信したALL NOTE OFFは、該当チャンネルでMIDIにより発音されたノートのみをオフします。

MIDI Data Table

Bank Select

MSB	(HEX)	LSB	(HEX)	Program No.	Type	Memory	Description
63	3F	0	00	0-7	Live Set Sound	User	Live Set Page 1
		1	01	0-7		User	Live Set Page 2
		2	02	0-7		User	Live Set Page 3
		3	03	0-7		User	Live Set Page 4
		4	04	0-7		User	Live Set Page 5
		5	05	0-7		User	Live Set Page 6
		6	06	0-7		User	Live Set Page 7
		7	07	0-7		User	Live Set Page 8
		8	08	0-7		User	Live Set Page 9
		9	09	0-7		User	Live Set Page 10
		10	0A	0-7		User	Live Set Page 11
		11	0B	0-7		User	Live Set Page 12
		12	0C	0-7		User	Live Set Page 13
		13	0D	0-7		User	Live Set Page 14
		14	0E	0-7		User	Live Set Page 15
		15	0F	0-7		User	Live Set Page 16
		16	10	0-7		User	Live Set Page 17
		17	11	0-7		User	Live Set Page 18
		18	12	0-7		User	Live Set Page 19
		19	13	0-7		User	Live Set Page 20

Bulk Dump Block

Top Addressは、Bulk Dumpで指定されるブロックの先頭アドレスを示します。
 Byte Countは、Bulk Dumpのブロックに含まれるデータサイズを示します。
 MultiおよびVOICEのBulk HeaderからBulk FooterまでのBlockは、順序は関係なく、すべて揃わなくても受信します。
 ただし、本来含まれないBlockが割り込んだ場合は、無効となります。
 1 Multi / 1 Voice のリクエストは、対応するBulk Headerのアドレスを指定してください。
 以下の表のBulk Headerの部分のmm、nnについては、MIDI PARAMETER CHANGE TABLE (BULK CONTROL)をご参照ください。

Group Number = 7F 1C, Model ID = 08

Parameter Block	Description	Byte Count		Top Address			
		Dec	Hex	High	Mid	Low	
System	System	48	30	20	00	00	
	Master EQ	20	14	20	40	00	
	Contents Unlock			20	70	00	
Live Set Sound	Bulk Header	0	00	0E	pp	0n	
	Common	48	30	46	00	00	
	Zone	Zone 1	16	10	4A	00	00
		:			:		
		Zone 4				03	
	Section	Piano Common	24	18	50	00	00
		E.Piano Common				01	
		Sub Common				02	
		Piano Specific	28	1C	50	10	00
		E.Piano Specific				11	
	Sub Specific				12		
	Bulk Footer			0F	pp	0n	

Parameter Base Address

Group Number = 7F 1C, Model ID = 08

Parameter Block	Top Address			Description
	High	Mid	Low	
	System	20	00	
BULK CONTROL	20	40	00	Master EQ
	0E	00	00	Header
	0F	00	00	Footer
STORE TO FLASH	0D	00	00	Store To Flash
Live Set Sound	46	00	00	Common
	4A	zz	00	Zone (zz : 00 - 03)
Section	50	0p	00	Common
	50	1p	00	Specific

Message Type	Data
Parameter Change	F0, 43, 1n, gh, gl, id, ah, am, al, dt, ... F7
Parameter Request	F0, 43, 3n, gh, gl, id, ah, am, al F7
Bulk Dump	F0, 43, 0n, gh, gl, bh, bl, id, ah, am, al, dt, ..., cc, F7
Bulk Request	F0, 43, 2n, gh, gl, id, ah, am, al, F7

n: Device Number
 gh: Group Number High
 gl: Group Number Low
 bh: Byte Count High
 bl: Byte Count Low
 id: Model ID
 ah: Parameter Address High
 am: Parameter Address Middle
 al: Parameter Address Low
 dt: Data
 cc: Data Checksum

MIDI PARAMETER CHANGE TABLE (BULK CONTROL)

Group Number = 7F 1C, Model ID = 08

Address			Size	Data Range (HEX)	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
0E	pp	0n	1	-	Bulk Header	Live Set Sound User (pp = 0 - 19, n = 0 - 7)	-	
	7F	00	1	-		Current Sound Buffer	-	
0F	pp	0n	1	-	Bulk Footer	Live Set Sound User (pp = 0 - 19, n = 0 - 7)	-	
	7F	00	1	-		Current Sound Buffer	-	

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
		29	1	00 - 01	Live Set View Mode	Close, Keep	00	
		2A	1	00 - 13	Power On Page	1 - 20	00	
		2B	1	00 - 07	Power On Sound	1 - 8	00	
		2C	1	00 - 78	FS Control Number	Off, 1 - 118, 119 (Live Set Inc), 120 (Live Set Dec)	77	
		2D	1		reserved			
		2E	1	00 - 7F	USB Audio Volume	0 - 127	40	
		2F	1	00 - 02	Sustain Pedal Select	FC3 Half On, FC3 HalfOff, FC4/5	00	

TOTAL SIZE = 48

30 (HEX)

SYSTEM System Common

Group Number = 7F 1C, Model ID = 08

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
20	00	00	1		reserved			
		01	1		reserved			
		02	4	00 - 00 00 - 07 00 - 0F 00 - 0F	Master Tune	-102.4 - +102.3 [cent] 1st bit3-0: bit15-12 2nd bit3-0: bit11-8 3rd bit3-0: bit 7-4 4th bit3-0: bit 3-0	00 04 00 00	
		06	1	3D - 43	Keyboard Octave Shift	-3 - 0 - +3	40	
		07	1	34 - 4C	Keyboard Transpose	-12 - +12 [semitones]	40	
		08	1	00 - 01	Controller Reset	Hold, Reset	01	
		09	1	00 - 01	Local Switch	Off, On	01	
		0A	1	00 - 0F, 7F	Tx Channel	1 - 16, Off	00	
		0B	1	00 - 10	Rx Channel	1 - 16, All	00	
		0C	1	00 - 03	MIDI Control	Off, Mode 1, Mode 2, Mode 3	00	
		0D	1		reserved			
		0E	1		reserved			
		0F	1		reserved			
		10	1	00 - 04	Keyboard Velocity Curve	Normal, Soft, Hard, Wide, Fixed	00	
		11	1	01 - 7F	Keyboard Fixed Velocity	1 - 127	40	
		12	1	00 - 01	Transmit/Receive Bank Select	Off, On	01	
		13	1	00 - 01	Transmit/Receive Program Change	Off, On	01	
		14	1		reserved			
		15	1	00 - 01	MIDI In/Out	USB Thru, In/Out	01	
		16	1	00 - 01	USB In/Out	Off, On	01	
		17	1		reserved			
		18	1		reserved			
		19	1	00 - 01	Display Lights Ins Effect	Off, On	01	
		1A	1	00 - 01	Display Lights Section	Off, On	01	
		1B	1	00 - 01	Display Lights LCD	Off, On	01	
		1C	1		reserved			
		1D	1		reserved			
		1E	1	00 - 01	Value Indication	Off, On	01	
		1F	1		reserved			
		20	1	00 - 01	SW Direction	Default, Reverse	00	
		21	1		reserved			
		22	1	00 - 3F	LCD Contrast	1 - 64	20	
		23	1	00 - 01	Panel Lock Live Set	Off, On	01	
		24	1	00 - 01	Panel Lock Section	Off, On	01	
		25	1	00 - 01	Panel Lock Effect	Off, On	01	
		26	1	00 - 01	Panel Lock Master EQ	Off, On	01	
		27	1		reserved			
		28	1	00 - 01	Section Hold	Disable, Enable	00	

System MEQ

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
20	40	00	1	34 - 4C	EQ Gain1	-12dB - +12dB	40	
		01	1		reserved			
		02	1		reserved			
		03	1		reserved			
		04	1		reserved			
		05	1		reserved			
		06	1		reserved			
		07	1		reserved			
		08	1	34 - 4C	EQ Gain3	-12dB - +12dB	40	
		09	1	0E - 36	EQ Frequency3	100Hz - 10kHz	1C	
		0A	1		reserved			
		0B	1		reserved			
		0C	1		reserved			
		0D	1		reserved			
		0E	1		reserved			
		0F	1		reserved			
		10	1	34 - 4C	EQ Gain5	-12dB - +12dB	40	
		11	1		reserved			
		12	1		reserved			
		13	1		reserved			

TOTAL SIZE = 20

14 (HEX)

LIVE SET SOUND

Live Set Sound Common

Group Number = 7F 1C, Model ID = 08

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
46	00	00	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 1	32 - 127 (ASCII)	49	'l'
		01	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 2	32 - 127 (ASCII)	6E	'n'
		02	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 3	32 - 127 (ASCII)	69	'i'
		03	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 4	32 - 127 (ASCII)	74	't'
		04	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 5	32 - 127 (ASCII)	20	''
		05	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 6	32 - 127 (ASCII)	53	'S'
		06	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 7	32 - 127 (ASCII)	6F	'o'
		07	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 8	32 - 127 (ASCII)	75	'u'
		08	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 9	32 - 127 (ASCII)	6E	'n'
		09	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 10	32 - 127 (ASCII)	64	'd'
		0A	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 11	32 - 127 (ASCII)	20	
		0B	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 12	32 - 127 (ASCII)	20	
		0C	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 13	32 - 127 (ASCII)	20	
		0D	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 14	32 - 127 (ASCII)	20	
		0E	1	20 - 7F	Live Set Sound Name 15	32 - 127 (ASCII)	20	
		0F	1		reserved			
		10	1		reserved			
		11	1	00 - 01	Zone Mode Switch	Off, On	00	
		12	1	00 - 01	Advanced Zone Mode Switch	Off, On	00	
		13	1		reserved			
		14	1		reserved			
		15	1	34 - 4C	TG Transpose	-12 - +12	40	
		16	1	01 - 7F	Split Point	C#-2 - G8	37	
		17	1		reserved			
		18	1		reserved			
		19	1	00 - 76	FC1 Assign	0 - 118	0B	
		1A	1	00 - 76	FC2 Assign	0 - 118	04	
		1B	1		reserved			
		1C	1		reserved			
		1D	1		reserved			
		1E	1		reserved			
		1F	1		reserved			
		20	1	00 - 03	Depth Knob Section Select	All, Piano, E.Piano, Sub	00	
		21	1		reserved			
		22	1		reserved			
		23	1		reserved			
		24	1	00 - 01	Delay Switch	Off, On	01	
		25	1	00 - 01	Delay Type	Analog, Digital	00	
		26	1	00 - 7F	Delay Feedback	0 - 127	40	
		27	1	00 - 7F	Delay Time	0 - 127	40	
		28	1	00 - 01	Reverb Switch	Off, On	01	
		29	1		reserved			
		2A	1		reserved			
		2B	1	00 - 7F	Reverb Time	0 - 127	40	
		2C	1		reserved			
		2D	1		reserved			
		2E	1		reserved			
		2F	1		reserved			

TOTAL SIZE = 48 30 (HEX)

ZONE

Group Number = 7F 1C, Model ID = 08

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
4A	zz	00	1	00 - 01	Zone Switch	off, on	00 - 01	Default は Zone1 のみ ON
		01	1	00 - 0F	Transmit Channel	Ch1 - 16	00 - 03	Default は Zone1 (0), Zone2(1), Zone3(2), Zone4(3)
		02	1	3D - 43	Transpose (Octave)	-3 - +3	40	
		03	1	35 - 4B	Transpose (Semitone)	-11 - +11	40	
		04	1	00 - 7F	Note Limit Low	C-2 - G8	00	上限は Note Limit High でリミット
		05	1	00 - 7F	Note Limit High	C-2 - G8	7F	下限は Note Limit Low でリミット
		06	1		reserved			
		07	1	00 - 7F	MIDI Volume	0 - 127	64	
		08	1	00 - 7F	MIDI Pan	L64 - C - R63	40	
		09	1	00 - 7F	MIDI Bank MSB	000 - 127	00	
		0A	1	00 - 7F	MIDI Bank LSB	000 - 127	00	
		0B	1	00 - 7F	MIDI Program Number	001 - 128	00	
		0C	1	00 - 1F	Transmit Bank Select Transmit Program Change Transmit Volume Transmit Pan Transmit Note	bit0: off, on Bank Select bit1: off, on Program Change bit2: off, on Volume bit3: off, on Pan bit4: off, on Note	1F	Volume を off にしたときは CC#11 (Expression) も出力しない
		0D	1	00 - 3F	Transmit PB Transmit MW Transmit FC1 Transmit FC2 Transmit FS Transmit Sus	bit0: off, on PB bit1: off, on MW bit2: off, on FC1 bit3: off, on FC2 bit4: off, on FS bit5: off, on Sus	3F	
		0E	1		reserved			
		0F	1		reserved			

TOTAL SIZE = 16 10 (HEX)

zz = Zone Number
00 - 03 (HEX)

SECTION Section Common

Group Number = 7F 1C, Model ID = 08

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
50	0p	00	1	00 - 0B	Current Category		00	
		01	1	00 - 7F	Category 1 Voice Number		00	
		02	1	00 - 7F	Category 2 Voice Number		00	
		03	1	00 - 7F	Category 3 Voice Number		00	
		04	1	00 - 7F	Category 4 Voice Number		00	
		05	1	00 - 7F	Advanced Sound Mode Voice Number		00	
		06	1	00 - 01	Advanced Sound Mode Switch	Off, On	00	
		07	1	00 - 01	Section Switch	Off, On	01	
		08	1	00 - 02	Split Mode	L&R, L, R	00	
		09	1	3E - 42	Octave Shift	-2 - 0 - +2	40	
		0A	1	00 - 7F	Section Volume	0 - 127	7F (Piano), 40 (EP, Sub)	
		0B	1	00 - 7F	Tone	0 - 127	40	
		0C	1		reserved			
		0D	1	28 - 58	Pitch Bend Range	-24 - 0 - +24	42	
		0E	1		reserved			
		0F	1	00 - 7F	Pitch Modulation Depth	0 - 127	00 (Piano, EP), 0A (Sub)	
		10	1		reserved			
		11	1	00 - 01	Receive Expression	Off, On	01	
		12	1	00 - 01	Receive Sustain	Off, On	01	
		13	1	00 - 01	Receive Sostenuto	Off, On	01	
		14	1	00 - 01	Receive Soft	Off, On	01	
		15	1		reserved			
		16	1	00 - 7F	Delay Depth	0 - 127	00	
		17	1	00 - 7F	Reverb Depth	0 - 127	00	

TOTAL SIZE = 24 18 (HEX)

Section Specific

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Note
High	Mid	Low						
50	1p	00	1	00 - 01	Piano Damper Resonance Switch	Off, On	00	Piano Sectionのみ有効
		01	1		reserved			
		02	1		reserved			
		03	1		reserved			
		04	1	00 - 01	Piano Effect Switch	Off, On	00	Piano Sectionのみ有効
		05	1	00 - 03	Piano Effect Type	Comp, Dist/OD, Drive, Chorus	00	Piano Sectionのみ有効
		06	1	00 - 7F	Piano Effect Depth	0 - 127	40	Piano Sectionのみ有効
		07	1		reserved			
		08	1	00 - 01	E.Piano Effect 1 Switch	Off, On	00	E.Piano Sectionのみ有効
		09	1	00 - 05	E.Piano Effect 1 Type	A.Pan, Trem, R.Mod, T.Wah, P.Wah, Comp	00	E.Piano Sectionのみ有効
		0A	1	00 - 7F	E.Piano Effect 1 Depth	0 - 127	40	E.Piano Sectionのみ有効
		0B	1	00 - 7F	E.Piano Effect 1 Rate	0 - 127	40	E.Piano Sectionのみ有効
		0C	1	00 - 01	E.Piano Effect 2 Switch	Off, On	00	E.Piano Sectionのみ有効
		0D	1	00 - 05	E.Piano Effect 2 Type	Cho1, Cho2, Fla, Pha1, Pha2, Pha3	00	E.Piano Sectionのみ有効
		0E	1	00 - 7F	E.Piano Effect 2 Depth	0 - 127	40	E.Piano Sectionのみ有効
		0F	1	00 - 7F	E.Piano Effect 2 Speed	0 - 127	40	E.Piano Sectionのみ有効
		10	1	00 - 01	E.Piano Drive Switch	Off, On	00	E.Piano Sectionのみ有効
		11	1	00 - 7F	E.Piano Drive	0 - 127	40	E.Piano Sectionのみ有効
		12	1		reserved			
		13	1		reserved			
		14	1	00 - 01	Sub Effect Switch	Off, On	00	Sub Sectionのみ有効
		15	1	00 - 03	Sub Effect Type	Cho/Fla, Rotary, Trem, Dist/OD	00	Sub Sectionのみ有効
		16	1	00 - 7F	Sub Effect Depth	0 - 127	40	Sub Sectionのみ有効
		17	1	00 - 7F	Sub Effect Speed	0 - 127	40	Sub Sectionのみ有効
		18	1	00 - 7F	Sub Attack	0 - 127	40	Sub Sectionのみ有効
		19	1	00 - 7F	Sub Release	0 - 127	40	Sub Sectionのみ有効
		1A	1		reserved			
		1B	1		reserved			

TOTAL SIZE = 28 1C (HEX)

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel Default Changed	1 - 16 1 - 16	1 - 16 1 - 16	Memorized
Mode Default Messages Altered	3 X *****	3 X X	Memorized
Note Number : True voice	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
Velocity Note ON Note OFF	O 9nH,v=1-127 X 8nH,v=64	O 9nH,v=1-127 O 9nH,v=0 or 8nH	
After Touch Key's Ch's	X X	X X	
Pitch Bend	O	O	
Control Change	0,32 *2 1 O 7,11,67,84 X 64 O *2 66 X *2 12-31 O *1 68,72,73 O *1 75-83,85-93 O *1 102-118 O *1 1-118 O *3	O *2 O O O *2 O *2 O *1 O *1 O *1 O *1 X	Bank Select Sustain Sw Sostenuto
Prog Change : True #	O 0 - 127 *2	O 0 - 7 *2	
System Exclusive	O	O	
Common : Song Pos. : Song Sel. : Tune	X X X	X X X	
System : Clock Real Time : Commands	X X	X X	
Aux : All Sound Off : Reset All Cntrl's : Local ON/OFF Mes- : All Notes OFF sages: Active Sense : Reset	X X X X O X	O (120) O (121) X O (123-125) O X	
<p>Notes: *1 receive/transmit if MIDI control mode is on. *2 receive/transmit if switch is on. *3 transmit if assigned to foot controllers.</p>			

Mode 1 : OMNI ON , POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON ,MONO
Mode 4 : OMNI OFF,MONO

O : Yes
X : No

メッセージ一覧

メッセージ	説明
Auto power off disabled.	オートパワーオフ機能が解除されます。
Completed.	ロード、セーブ、フォーマット、ジョブなどの実行が完了したときに表示されます。
Connecting to USB device...	USBフラッシュメモリーを接続中です。
Device number is off.	デバイスナンバーがオフなので、バルクデータを送受信できません。
Device number mismatch.	デバイスナンバーが異なるので、バルクデータを受信できません。
File or folder already exists.	同じ名前のファイルまたはフォルダーがすでに存在しています。
File or folder path is too long.	開こうとするファイルやフォルダーのパス名が長すぎて開けません。
Illegal bulk data.	バルクデータ、バルクリクエスト受信中にエラーが生じました。
Illegal file name.	ファイル名が無効の場合に表示されます。
Illegal file.	目的のファイルがこの楽器では扱えない、または読み込めない場合に表示されます。
Incompatible USB device.	本機では使用できないUSB機器がUSB [TO DEVICE]端子に接続されると表示されます。
MIDI buffer full.	一度に大量のMIDIデータを受信したので処理できませんでした。
MIDI checksum error.	受信したシステムエクスクルーシブのチェックサムが違います。
No device.	デバイスが接続されていません。
No read/write authority to the file.	ファイルの読み取り権限または書き込み権限がありません。
Now receiving MIDI bulk data...	MIDIバルクデータ受信中に表示されます。
Now transmitting MIDI bulk data...	MIDIバルクデータ送信中に表示されます。
Please reboot to maintain internal memory.	本体メモリー (NAND)の修復を行ないますので、この楽器を再起動してください。
Push [PANEL LOCK] Button.	パネルロックを解除してください。
Unsupported USB device.	USBフラッシュメモリーがフォーマットされていないか、本機で処理できないフォーマットの場合に表示されます。本機でフォーマットしてください。
USB connection terminated.	USB機器に異常な電流が流れたため接続を遮断しました。
USB device is full.	USBフラッシュメモリーの容量がいっぱいでファイルが保存できない場合に表示されます。新しいUSBフラッシュメモリーを用意するか、不要なファイルを消去してから操作をやりなおしてください。
USB device is write-protected.	書き込み禁止状態になっているUSBフラッシュメモリーへの書き込みを行なおうとした場合に表示されます。
USB device read/write error.	USBフラッシュメモリーへのリード/ライト中にエラーが発生しました。

困ったときは

「音が出ない」「音色がおかしい」などといった場合は、まず以下の項目をチェックしてください。また、ファクトリーリセット(19ページ)を行なうと解決できることもあります。それでも直らないときは、お買い上げのお店、または巻末の問い合わせ窓口にご連絡ください。

現象	考えられる原因	解決法
電源が勝手に切れる	故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです。	オートパワーオフ機能を使いたくない場合は、機能を無効にしてください(19ページ)。
音が鳴らない	外部アンプやスピーカー、ヘッドフォンが接続されていません。	本体にはスピーカーが内蔵されていません。音を出すためには、外部アンプやスピーカー、ヘッドフォンなどを接続してください(18ページ)。
	本体と、本体に接続した外部オーディオ機器の電源が入っていません。	本体と外部オーディオ機器の電源が入っているか確認してください。
	本体と、本体に接続した外部オーディオ機器の音量が下がっています。	音量を調節してください。本体では、[MASTER VOLUME]で音量を調節してください。FOOT CONTROLLER [1]/[2]端子にフットコントローラーを接続している場合は、動かしてみてください。
	すべてのボイスセクションの[ON/OFF]スイッチがオフになっています。	ボイスセクションの[ON/OFF]スイッチをオンにしてください。
	ボイスセクションの音量が下がっています。	各ボイスセクションの[VOLUME]ノブで音量を調節してください。
	Local Controlが「Off」になっています。	Local Controlが「Off」の場合、鍵盤を弾いても内部音源は鳴りません。Local Controlを「On」にしてください(28ページ)。
	外部MIDIコントローラーによって、MIDIボリュームやエクスプレッションが下がっています。	ライブセットサウンドを切り替えてみてください。また、FOOT CONTROLLER [1]/[2]端子にフットコントローラーを接続している場合は、フットコントローラーを動かしてみてください。
音が止まらない	ディレイなどのエフェクトがかかり、音が鳴り続けています。	フィードバックの設定値を下げるか、DELAY [ON/OFF]スイッチをオフに設定してください。もし、音が止まらない状態で他のライブセットサウンドに変更してしまった場合は、現在選択中のライブセットサウンドを再度選択し直してください。
音が歪む	エフェクトの設定が適切ではありません。	エフェクトタイプや設定によっては、音が歪む場合があります。エフェクトタイプや設定を変更してください。
	音量を上げすぎています。	音量を調節してください。
	本体と、本体に接続した外部オーディオ機器の音量を上げすぎています。	外部機器のボリューム、またはINPUT [GAIN]ノブや「USB Audio Volume」で音量を調整してください。
音が途切れる	全体の発音数が、最大同時発音数(128音)を超えています。	最大同時発音数を超えないようにしてください。
エフェクトがかからない	DEPTHが最小値になっています。	[DEPTH]ノブでエフェクトのかかり具合を調節してください。
本体とコンピューターの通信ができない	コンピューター側でポートの設定ができていません。	コンピューター側でポートの設定をしてください。
パルクダンブデータが送信できない	使用する端子(MIDI、USB)が間違っています。	設定を確認してください。
	MIDI Device Numberが間違っています。	MIDI Device Numberを確認してください。

現象	考えられる原因	解決法
USBフラッシュメモリーに保存できない	USBフラッシュメモリーにライトプロテクトがかかっています。	ライトプロテクトを解除してください。
	USBフラッシュメモリーが正しくフォーマットされていません。	フォーマットし直してください。
ペダルが効かない	ペダルが正しく接続されていません。	ペダルコードのプラグが確実に接続されているか確認してください。
ボイスセクションに番号が表示されない	「Advanced Mode SW」が有効(On)になっています。	「Advanced Mode SW」を無効(Off)にしてください(33ページ)。
電源が入っているのにLCDに何も表示されない	「Display Lights」→「LCD SW」の設定が「Off」になっています。	「LCD SW」の設定を「On」にしてください(28ページ)。
	「Display Lights」→「LCD Contrast」の設定値が下がっています。	「LCD Contrast」でコントラストを調整してください(28ページ)。

仕様

項目		内容	
		CP88	CP73
鍵盤		88鍵NW-GH3鍵盤 (木製象牙調・黒檀調仕上げ グレードハンマー)	73鍵BHS鍵盤 (黒鍵マット仕上げ バランスドハンマー)
音源	音源方式	AWM2	
	最大同時発音数	128	
音色	ライブセット サウンド数	160 (プリセットライブセットサウンド: 80)	
	ボイス数	57 (PIANO: 10/ E.PIANO: 14/ SUB: 33)	
	エフェクト	インサージョンエフェクト: PIANO 2系統 (1: ダンパーレゾナンス、2: コンプレッサー、ディストーション、ドライブ、コーラス) E.PIANO 3系統 (1: ドライブ、2: オートパン、トレモロ、リングモジュレーター、タッチワウ、ペダルワウ、コンプレッサー、3: コーラス1、コーラス2、フランジャー、フェーザー 1、フェーザー 2、フェーザー 3) SUB 1系統 (コーラス/フランジャー、ロータリースピーカー、トレモロ、ディストーション) ディレイ: 2タイプ (アナログ、デジタル) リバーブ 3バンドイコライザー (MID: 周波数変更可能)	
ディスプレイ	タイプ	フルドットLCD (128×64 ドット)	
接続端子		OUTPUT [L/MONO]/[R] (標準フォーン端子、アンバランス) OUTPUT [L]/[R] (XLR端子、バランス) INPUT [L/MONO]/[R] (標準フォーン端子) [PHONES] (ステレオ標準フォーン端子) FOOT CONTROLLER [1]/[2] FOOT SWITCH [SUSTAIN]/[ASSIGNABLE] MIDI [IN]/[OUT] USB [TO HOST]/[TO DEVICE] [AC IN]	
電源	定格電源	AC100V 50/60 Hz	
	消費電力	14W	
サイズ/質量	幅×奥行×高さ	1298×364×141 mm	1086×355×144 mm
	質量(本体のみ)	18.6 kg	13.1 kg
付属品		取扱説明書(本書) x 1 保証書 x 1 電源コード x 1 フットペダル(FC3A) x 1 2P-3P変換器 x 1	

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできません。

索引

D

DAW 24

I

iPhone/iPad 25

M

MENU 26

MIDI受信チャンネル 23

MIDI送信チャンネル 23

MIDIチャンネル 41

MIDIポート 23

S

SETTINGS 31

SSS 10

U

USB [TO DEVICE] 22

USB [TO HOST] 25

USBオーディオ 25

USBフラッシュメモリー 21

Y

Yamaha Steinberg USBドライバー 24

E

エフェクト 14

エレクトリックピアノセクション 13

オ

オートパワーオフ 19

音源モジュール 23

カ

外部MIDIキーボード 23

外部MIDI機器 23

コ

コンピューター 24

サ

サブセクション 14

シ

シームレス サウンド スイッチング 10

シンセサイザー 23

ス

スプリット 11

テ

ディレイセクション 15

ヒ

ピアノセクション 12

フ

ファイルタイプ 21

ファクトリーリセット 19

マ

マスター EQ 15

ラ

ライブセット 10

ライブセットサウンド 10

ライブセットビュー 10

リ

リバーブセクション 15

■ 製品のご登録のご案内

この度はヤマハ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

「ヤマハミュージックメンバーズ」では、Webサイトで所有製品のご登録をお勧めしています。ご登録いただくことで、ヤマハミュージックメンバーズ Webサイトやメールニュースでお客様にマッチした製品やキャンペーン、イベントに関する情報をお届けします。

<http://4wrd.it/MEMBER-JP>



■ 質問の受付

ヤマハデジタル製品は、常に新技術/高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究/改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験が必要としてみまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではシンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口を開設いたしております。お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。お問い合わせの際には、「製品名」をお知らせください。

お客様コミュニケーションセンター シンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-015-808

ナビダイヤル® ※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-1666へおかけください。

受付: 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<https://jp.yamaha.com/support/contacts/>

* 営業日や営業時間を変更させていただく場合がございます。
あらかじめご了承ください。

◆ ウェブサイトのご案内

ヤマハ音楽制作機器ウェブサイト

<https://jp.yamaha.com/mp/>

◆ 電子マニュアル(PDF形式)

この取扱説明書の電子マニュアルは、ウェブサイトからご覧いただけます。以下のウェブサイトアクセスし、「取扱説明書」を開きます。言語を選択して「製品名またはキーワード」にモデル名を入力し「検索」をクリックします。

<https://jp.yamaha.com/support/>

PDFファイルをご覧いただくためにはAdobe Reader®が必要ですが、Adobe ReaderはAdobe社のページから無償で最新バージョンを入手することができます。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

*都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 修理のご依頼(CP88)

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。

● 持込み修理のお願い(CP73)

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へこの楽器をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-012-808

ナビダイヤル® ※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX 東日本 (北海道/東北/関東/甲信越/東海)
03-5762-2125
西日本 (北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)
06-6649-9340

◆ 修理品お持ち込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006
東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011
大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセイビル7F
FAX 06-6649-9340

*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

